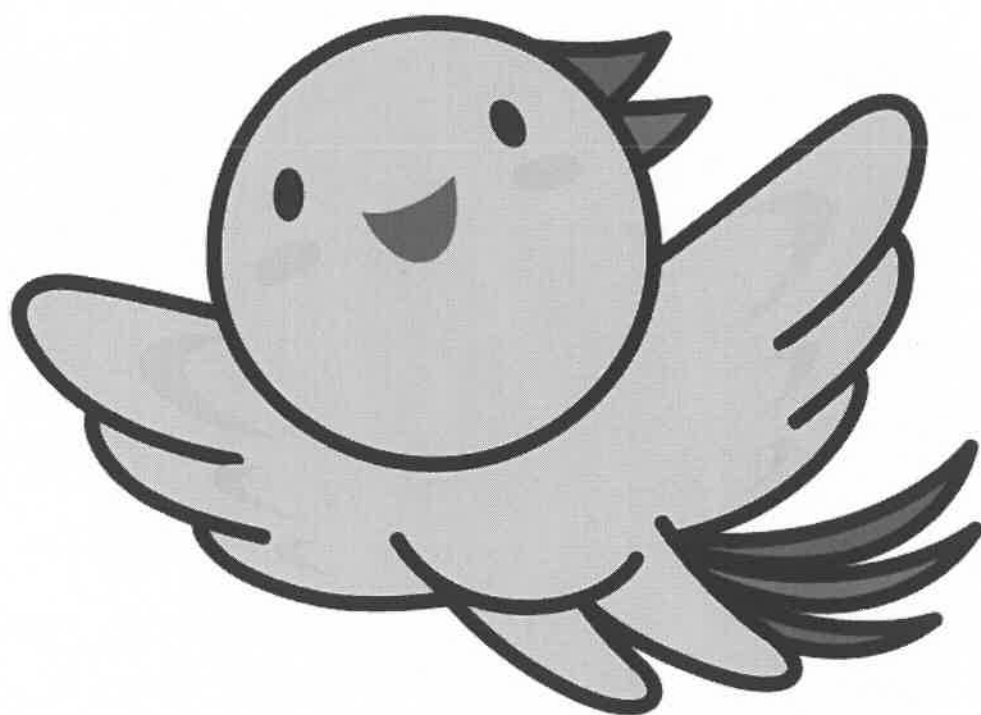


**2020年度
阪神南ふるさとづくり応援事業**

事例集



兵庫県阪神南県民センター

目次

第1次募集分

【地域活動支援枠】

市	事業名	団体名	ページ
西宮市	みんなで昔話を語ろう！伝えよう！ 小澤俊夫講演会「昔ばなしが語る子どもの成長」&お話会	西宮ストーリーテリングの会	1

第2次募集分

【地域活動支援枠】

市	事業名	団体名	ページ
尼崎市	塚口寄席	塚口倶楽部	4
尼崎市	第9回武庫之荘駅ロータリー祭り	武庫之荘水と緑のまちづくり プロジェクト実行委員会	8
尼崎市	契沖顕彰短歌大会	契沖の会	13
尼崎市	ジャズコンサート&ダンスパーティ2020	コミュニティルーム武庫運営 委員会	16
尼崎市	「見守る力 応援セミナー」事業	NPO法人ゲートキーパー支援 センター	18
尼崎市	「魅力ある園田のまちづくり・グランドデザイン」の提唱	園田まちづくり委員会	22
西宮市	上ヶ原地区高齢者のいきがづくりと多世代交流活性化事業	なないろの会	28
西宮市	ウィルキンソン記念館を活用した、 地域活性化事業	ウィルキンソン記念館推進委 員会	31
西宮市	西宮まちなみ発見倶楽部・景観啓発事業 ～パネル展・セミナー&まちあるき・まちなみカフェ～	西宮まちなみ発見倶楽部	34
西宮市	町の図書館整備による地域の見守り推進事業	NPO法人人と地域の活動応援 団ばっかばか	40
芦屋市	「まちなかの小さな里山」について考え、つくるワーク ショップ	フライパン	42
芦屋市	学んで食べて 個人&地域を健康にする 「わいわい食堂」事業	わいわい食堂	45

【地域コミュニティ再生・活性化枠】

市	事業名	団体名	ページ
尼崎市	地域コミュニティにおける若者元気づくり事業	園田北小学校区まちづくり協 議会	47

第3次募集分

【地域活動支援枠】

市	事業名	団体名	ページ
尼崎市	日頃の生活活動を防犯活動につなげよう!!	小中島社会福祉連絡協議会	51
尼崎市	「元気と活気 長寿社会を楽しむ智恵」事業 -今からでも遅くない-	潮江幸齢者ふれあいサロン	54
尼崎市	第2回 小田子どもフェスタ	小田子どもフェスタ実行委員会	58
尼崎市	コロナに負けない! 「尼崎空手道交流会2020」	道慎館	61
西宮市	災害時における災害対応能力の向上	鳴尾北県民交流広場事業推進委員会	66
西宮市	全員集合 音楽演奏と大道芸のつどい	Step By Step	69
西宮市	第7回 廣田神社浪曲寄席	西宮浪曲を楽しむ会	73
西宮市	にしきた商店街と連携した地域活性化事業 「にしきた商店街応援&つながるプロジェクト」オンライン料理教室	NPO法人にしのみや次世代育成支援協会 (NOBARS)	77
芦屋市	HAI's講座	芦屋市朝日ヶ丘地区集会所運営協議会	82
芦屋市	高校生の視点から発見・発信する芦屋の魅力	あしや部	86

1-2

事業名	みんなで昔話を語ろう！伝えよう！ 小澤俊夫講演会「昔話が語る子どもの成長」 & お話会
団体名	西宮市ストーリーテリングの会
活動地域	1 (西宮) 市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町：)
協働団体	
事業の 目的・趣旨	昔話研究の権威であり、伝承者を育成している講師の講演録、随筆、著作物を中心に昔話への理解を深め、伝承者を増やし、地域の子どもや人々が共に気軽に昔話に触れることのできる機会を設けていく。
事業内容	<p>1, 小澤俊夫講演会「昔話が語る子どもの成長」 6月5日(金) 中央公民館 参加費 1,000円 但し、コロナの影響を受け、延期 11月27日(金) 甲東ホール 参加申込者 107名 但し、コロナ感染再拡大により、講師招聘を断念、中止</p> <p>2, 昔話と伝承の研究 小澤俊夫氏編著の出版物と地域の昔話の研究と伝承について学ぶ 『昔話とは何か』『ときを紡ぐ』(小澤昔ばなし研究所) 『子どもに贈る昔ばなし 鬼とあんころもち一幼い子のための昔ばなし』 『日本の昔話シリーズ』(福音館書店) 『子どもと読む日本のむかしばなし』(くもん出版) 『ひょうごの民話』(兵庫県学校厚生会) 『西宮のむかし話』(関西学院大学出版会)</p> <p>3, お話し会「みんなで楽しむ！ストーリーテリング@甲東園」開催 11月27日(金) 10時～12時 甲東ホール 近隣住民を対象に西宮や日本の昔話を中心としたストーリーテリングだけのお話し会 参加者 45名 (一般 35名 スタッフ 10名) 講演会申込者からも語り手(ストーリーテリング演者)を募集 希望者4名のうち2名が当日語り手として参加 感染症対策として、参加者の連絡先登録(2週間保持)、入り口での検温、消毒を行う</p>

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	2	4	22	オンライン	運営委員会	5	
		5	14	オンライン	運営委員会	5	
		6	17	高木センター	運営委員会	7	
		7	15	高木センター	運営委員会	8	
		8	17	ウェーブ西宮	講演会チラシ印刷	3	
		8	17~	各所	チラシ配布		
		8	19	高木センター	運営委員会	8	
		9	16	高木センター	運営委員会	7	
		10	21	高木センター	運営委員会	7	
		10	22	各所	講演会申込者への連絡		
		10	30	オンライン	兵庫県「子どもの居場所フォーラム」参加	1	
		11	4	高木センター	運営委員会・勉強会	9	
		11	13	甲東ホール	打ち合わせ	6	
		11	18	高木センター	運営委員会・勉強会	9	
		11	24	ウェーブ西宮	チラシ印刷	1	
		11	27	甲東ホール	お話し会	10	35
		12	2	高木センター	運営委員会	8	
		12	16	高木センター	運営委員会	7	
	12	21	高木センター	運営委員会	4		
	3	1	20	高木センタ	運営委員会	3	
目標の達成状況	<p>コロナの影響を受けて、講演会の延期、小澤俊夫講師の招聘は叶わなかったが、講師の著作物による口承文学としての昔話の研究、西宮市や兵庫県の出版物の読みあい等、学びを深めることができたことは、貴重な収穫であった。大学閉鎖により、学生の参加を促せなかったことは残念であるが、語り手を募集し、当会メンバーと共に語り手として参加してもらえたことは大なる成果と言える。伝承していくことの大切さも学べた。</p>						
事業効果	<p>日本の昔話を中心としたお話し会を開催。初めて本を持たないストーリーテリングを聞く方の参加もあり、「語りを聞くことの素晴らしさ」「想像の翼を広げた」等の感想をいただき、口承文学としての昔話に触れる機会を作れた。語り手希望者も複数あり、今回の演者は2名だが、将来語り手となる人を増やしていく活動の一步を踏み出せたと思う。プログラムの始まりと終わりに西宮の話を入れたが、「地元の地名に親近感を覚えた」「見慣れているいつもの風景の見方が変わった」「ふるさとの良さを改めて感じた」等の感想を得た。</p>						
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望	<p>図書館を中心に、子どもを対象にしたお話し会を継続。また、この地域で、将来子どもに接する学生（今回はコロナで断念）、子どもを育てる保護者、子育て支援者へ、昔話を語り伝える啓蒙活動を続けていく。今回コロナでできなかった「昔話を題材とした親子で楽しめるワークショップ」や「お話し会」の開催で、これからも昔話に触れる機会を設けていきたい。</p>						

事業実施状況を示す写真



2-1

事業名	塚口寄席
団体名	塚口倶楽部
活動地域	1 (尼崎) 市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町：)
協働団体	塚口南町社会福祉協会、社会福祉連合塚口本町青年団、塚口南町子ども会
事業の 目的・趣旨	<p>コロナの影響で、町内の催しがすべて中止になっている。こども会でこれまで行ってきた「地蔵盆」「ボーリング大会」、青年団で実施してきた「塚口神社秋祭の山車巡行」等、いずれも町内の子ども達が一堂による、世代を越えて楽しむ機会となっていた。夏休みも短く子ども達の日々が楽しいものでなくなっているだけでなく、高齢者も静かな町内にひきこもりがさらに進んでいる。</p> <p>町内の子ども達が楽しい時間を家族と共に過ごせる機会をつくること。さらにまちの子ども会や青年団や商店街のメンバーと顔をあわすこと。子ども達だけでなく、高齢者にもその機会をつくること。落語というどの世代も楽しめるツールを利用して、世代間交流の場をつくり、町内の活性化をはかる。</p> <p>上記の趣旨・目的で企画された事業であるが、感染症の拡大防止を考慮し、町内、近隣の子どもを対象を絞って内容を練り直して当初の目的を少しでも果たすべく開催するに至った。</p>
事業内容	<p>10月17日塚口寄席開催</p> <p>町内会館で、少人数(20人/回)で三回実施(コロナ対策・密回避)</p> <p>未就学児童から高齢者まで楽しめる、腹話術と落語で構成</p> <p>熱中症・コロナ対策として、飲料を配布する。</p> <p>町内掲示板掲示、子ども会・青年団メンバー中心にチラシ配布</p> <p>未就学児童も楽しめる腹話術をプログラムに加え、腹話術と落語で構成した。</p> <p>コロナ対策として、少人数に入場制限をした上で、20分程度の会を、三回に分けて人を入れ替えて実施した。町内会館の1階と2階を使い、1階で子ども会主催の輪投げ・射的といったお遊びをした後、2階で腹話術と落語を楽しんでもらった。1階では入り口に消毒液を設置し、入る前に必ず手を消毒し、マスクを着用して入るようにアナウンスした。マスクを忘れた子のためにお渡しする用のマスクも準備。一家庭に一つずつ携帯用の消毒液を配布した。フロアは1階2階とも窓を開け、サーキュレーターを回して換気を徹底した。落語や腹話術を楽しむ際には、座布団を距離を開けて配置して、その上に座ることで子どもたちの距離を確保した。演者さんと子どもたちの間にはポリカーテンを設置することにした。</p> <p>一緒に来場した保護者の皆さんも、徹底した感染症対策に安心してもらえたのか、子どもと一緒に落語や腹話術で声を出して笑ってくれていた。</p> <p>いろんな意味で開催する意義のある事業となった。</p>

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	2	8	1	クローバー	青年団と打ち合わせ	3	
	2	8	23	クローバー	企画会議	5	
	2	9	12	クローバー	企画会議・告知物制作	5	15
	2	10	3	クローバー	運営会議	8	
	2	10	17	南町会館	塚口寄席	15	60
	2	10	25	クローバー	反省会	5	
目標の 達成状況	<p>地域団体と連携し、参加人数の増加を図る。現在子ども会会員数 30 名（兄弟含む）。会員の 80%が参加し、さらに未就学児童の家族同伴を鑑み、60 名を目標値と設定。</p> <p>本来は四回構成としていたが、コロナ災禍にともない、インフルエンザの流行期も鑑みて、秋の一回限りの実施とした。</p>						
事業効果	<p>町内会・子ども会のまちを支える市民が、日本の伝統文化「落語」に親しむ。</p> <p>まちなかコミュニケーションが生まれる。</p> <p>旧市街地の子ども達がまちなかで楽しむことから、新しい市街地の子ども達もまちに親しむ場が生まれる。</p> <p>年度終了時には連携先と協議し、内容の改善を行い、各団体の課題を解決できる場として機能していくように改善を図っていく予定</p>						
補助金交付 終了後の事業 展開、今後の 展望	<p>本来の目的・趣旨を実現していくためにも有効な事業であることは、これまでも実感してきたことだが、コロナ禍での不自由な状況でも、方法をしっかりと考えれば、みなさんに理解してもらえて、参加者にも喜んでもらえる非常に万能な事業であることもわかった。町内各会との連携を今後も深めていく中で、柱となる事業に育てていきたいと考えている。</p>						

【事業実施状況を示す写真等】



入場無料

塚口寄席

令和二年

落語



関大亭掌乱

会場 南町会館

【お問い合わせ先】

村上(スタジオオクローバー)

06642086968

主催 塚口倶楽部

共催 塚口南町社会福祉協会

社会福祉連合塚口本町青年団

塚口南町子ども会

十月十七日 土曜日

①九時 ②十時 ③十一時

密を避けるため3交代制で開催



腹話術

妻

葛乃唐丸



射的&輪投げ



感染症対策を実施しています



本事業は、兵庫県阪神南県民センター「阪神南ふるさとづくり応援事業」による補助を受けて行います。

事業名	第9回・武庫之荘駅前ロータリー祭り
団体名	武庫之荘水と緑のまちづくりプロジェクト実行委員会
活動地域	1 (尼崎) 市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町：)
協働団体	後援：尼崎市、尼崎市教育委員会
事業の 目的・趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第9回駅前ロータリー祭りは、地元の小中高校生の吹奏楽やバトンの出場、地元事業所のグルメ店の出店、市民参加のフリーマーケットの開催等々武庫之荘の魅力伝える催しにしたい。 ・ 昨年に続き、障害者団体・介護事業所などに祭りに主体的に担っていただき、障害者・高齢者が利用しやすい環境づくりをめざしたい。(ユニバーサル社会) ・ 市民の寄付による駅前昭和歴史遺産保全運動の一環として、今年度は新宮晋氏作品「風のノート」のリフォームと案内板の設置を図り、南口のゴンドラ噴水のリニューアルにつなげて、街の歴史・魅力として若い世代・住民に伝えていきたい。 ・ 同時に、放置自転車では最後の課題として残っている駅北の駅前事業所等の利用者用の一時駐輪場の設置を目指したい。 ・ 「駅前ロータリー祭り」の継続開催を通じて、地域コミュニケーションの再生と駅前の環境改善と賑わいのあるまちづくりをめざしたい
事業内容	<p>1. 第9回・武庫之荘駅前ロータリー祭り と き：2020年11月22日(金)～11月27日(金) と ころ：阪急武庫之荘駅地下道園児ギャラリー 対 象：一般市民 内 容：武庫之荘駅南北地下道の壁面を利用し、就学前園児による交通安全ポスターを掲示し、交通安全マナー向上を図る。</p> <p>2. 水路清掃 と き：2020年5月から2021年1月(毎月第2土曜日) と ころ：武庫之荘駅北水路 ※当事業は3密にならないので、感染防止策をしたうえで実施している。</p>

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	2	7	29	西富松会館	実行委員会	10名	
	2	10	27	西富松会館	実行委員会	9名	
	2	11	20 ～11	駅地下道	地下道園児ギャラリー展 開催	10名	多数
	2	11	27 ～12	コープ武庫之荘	コープ武庫之荘の展示場で追 加の展覧会を実施した	10名	不明
	2 ～3	5 1	8 9	武庫之荘駅前 周辺水路	水路清掃 毎月第2土曜日	5～8名	
目標の 達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 地下道園児ギャラリーは、作品作製関係者と地下道利用者となり、人数把握は困難であるが、多数の方にご覧いただきました。 出店団体は週へ幼稚園・保育所の8団体に参加いただきました。 コープ武庫之荘のご厚意により、地下道での展示以降6団体の絵画を展示した。 水路清掃については月1回定期的に行い、ごみのない水路を保っている。また、同時に、市の河港課より借りている泥上げ敷の緑化の手入れも行い、季節の草花の保全にも努めている。 						
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> 地下道園児ギャラリーの作品テーマは、交通安全としていて、例年、創意工夫された力作が展示され交通マナーの向上につながったと思う。また子どもたちの絵画が、通路に展示されることにより、温もりのある空間となった。 水路清掃については、行政だけでは年間2～3回しか水路清掃ができておらず、ごみや空き缶が散乱するが、月1回の清掃であるがきれいな水路が保たれ地域の方に喜んでいただいている。また、緑化により季節の草花が目を楽しませてくれ、周辺の人も楽しんでいる。 						
補助金交付 終了後の事 業展開、今 後の展望	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は新型コロナ禍において、感染防止の観点から、例年の小中高生の演奏やパレード等を中止せざるを得なかった。イベントは大幅に縮小し、地下道園児ギャラリーの展覧会の開催となったが、令和3年度は例年通りの催しにしたい。 駅前の昭和の歴史遺産の修復については、新宮晋氏の風のノートはモニュメントの管理者である町会との協議が整わず、見送りとなった。次年度については武庫之荘駅南側の中村百合子氏のゴンドラの噴水の修復に取り組みたい。 自転車の一時駐輪場の設置については、尼崎市と駅前金融機関との協議が開始され、具体的な提案をもとに話し合われたが、用地が狭く採算面に課題があり整うことができなかった。今後については一時駐輪場の設置に向けて市として初めての具体的な仕組みが提案されたことにより、他の金融機関と一時駐輪場の設置に向け協議していきたい。 						

水と緑と希望のまち、武庫之荘!!

9th

武庫之荘駅前 ロータリー祭り

令和2年11月20日(金)~27日(金)

13:00より

13:00まで

場所 / 阪急・武庫之荘駅 南北地下道



南北地下道園児ギャラリー

乗り物と交通安全絵画展

みこころ幼稚園・武庫之荘幼稚園・武庫之荘保育園・武庫まつのみ保育園
武庫東からたち幼稚園・武庫南保育所・武庫東保育所・武庫からたち幼稚園

- 「第9回・駅前ロータリー祭り」は、新型コロナウイルス感染拡大情勢から住民の健康と安全面を第一に考慮して、「南北地下道園児ギャラリー」を除いて、他の全てのイベント(恒例のパレードやステージ演奏、歩行者天国など)は、残念ながら自粛中止とさせていただきます。
- 「乗り物と交通安全絵画展」の一部作品は、11月27日(金)16:00から12月4日(金)13:00まで、「コープ武庫之荘」にて移動展示されます。

《この事業は、2020年度・兵庫県・阪神南ふるさとづくり応援事業の補助金を受けています》



高齢者や障害者にも優しい、
自転車の利用しやすいまち、武庫之荘!!
マナー向上が光る駅前広場!!

《主催》
編集・発行

武庫之荘 水と緑のまちづくりプロジェクト実行委員会

HP
Facebook

<http://muko-mizupro.net/>
<https://www.facebook.com/mizu.mukonosu>

●連絡先(事務局) / 〒661-0032 尼崎市武庫之荘東1-28-1 TEL.06-4962-5551 FAX.06-4950-6691

第9回武庫之荘駅前ロータリー祭り園児ギャラリー 地下道 R2.11/20~11/27



コープ武庫之荘店における園児ギャラリー R2.11/27~12/4



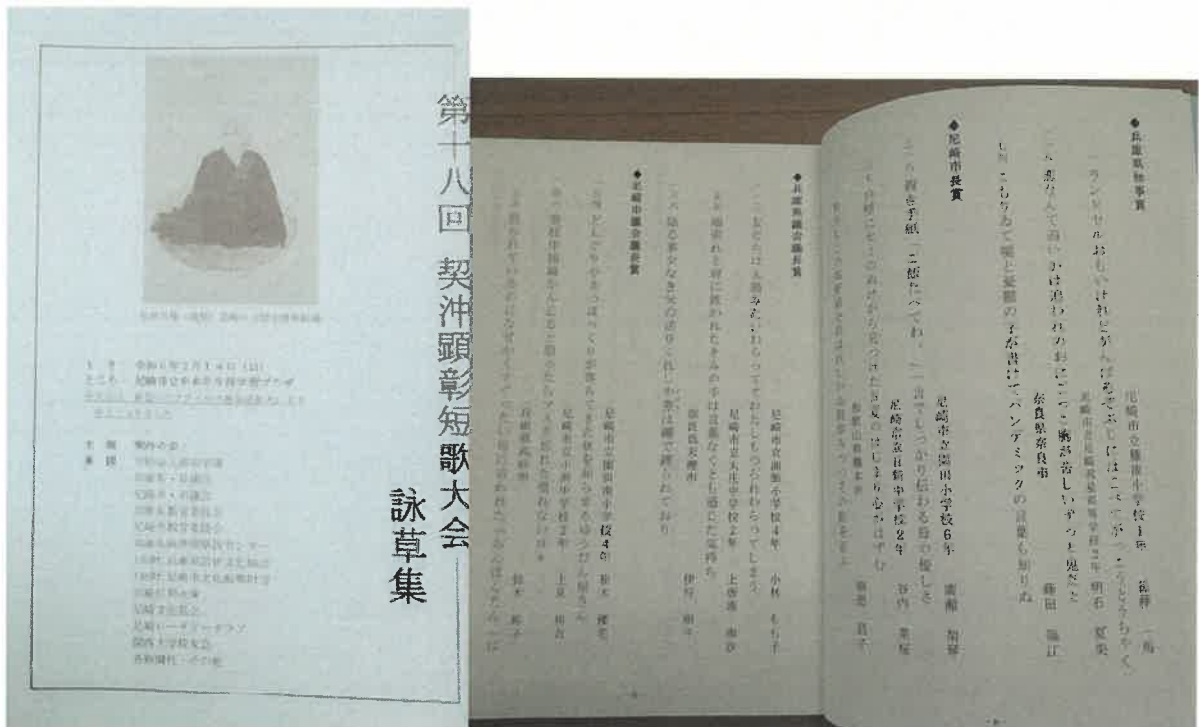
事業名	第18回契沖顕彰短歌大会
団体名	契沖の会
活動地域	1 ()市 ② 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町:)
協働団体	園田学園女子大学
事業の 目的・趣旨	<p>今年で18回目を迎える「契沖顕彰短歌大会」は、会員を含む一般社会人だけではなく、小学生、中学生、高校生、大学生からも短歌作品を募集している。</p> <p>特に、尼崎市を中心とした児童・生徒からの応募は、会から学校への働きかけの効果もあり、例年1万首以上集まっている。これほどの数の短歌を児童・生徒から毎年集めることができるのは全国的にも珍しいと自負している。</p> <p>また、短歌を創作することで語彙力・表現力を磨くことができ、日本の伝統文化への興味や再認識にもつながり、教育効果は高いと考えている。</p> <p>兵庫県だけでなく全国から広く作品募集を行い、契沖および功績の認知を広め、ひいては、契沖誕生の地であり事務局がある尼崎市の「短歌の街・尼崎市」というアピールにもなると考えている。</p>
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 募集要項作成、告知開始(7月～) <ul style="list-style-type: none"> 一般募集要領を三つ折りに変更、デザインも変更する。 会員、昨年以前に応募があった個人へ告知(約200名)、短歌の先生方へ応募依頼。 <p>さらに市内12か所の生涯学習者プラザ、尼崎ロータリークラブ、プロバスクラブ、尼崎文化協会、他短歌会などにも短歌大会の募集要項を配布し、短歌の応募活動に協力していただいた。</p> <p>大学内でも応募要項を設置し、学生のみならず生涯学習受講者にも応募を呼び掛けた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ホームページ再構築、また短歌誌に応募要項を掲載し広く募集する。 勉強会の開催はコロナ感染症対策により中止とした。 応募締め切り、第一次選考(11月4日) <ul style="list-style-type: none"> 一般→選者による選考 児童、生徒→教員による選考 第二次選考(12月12日) <ul style="list-style-type: none"> 一般、児童、生徒→選者(7名)により選考し、受賞者(特別賞、契沖賞、山の井賞)を決定。 大会の実施有無についての役員会を1月15日実施(ZOOM会議)。残念ながら第18回の短歌大会の表彰式は中止とした。 受賞者連絡、賞状・楯・「詠草集」など作成(2月初旬) 短歌大会(2月14日開催予定であったが、緊急事態宣言により中止) 賞状・楯の発送(2月26日)

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	2	7	1	尼崎市立中央中学校	応募要領を中学校長会で説明、配布	2	30
	2	7	3	尼崎市教育総合センター	応募要領を小学校長会で説明、配布	2	42
	2	10	15	尼崎市教育総合センター	小中高第1次選考	1	8
	2	12	12	尼崎市教育総合センター	短歌大会選者会	3	10
	3	1	15	ZOOM 会議	短歌大会の中止決定	3	8
	3	2	26	尼崎市小田南生涯学習プラザ	賞状、盾等発送作業	2	8
目標の達成状況	<p>初めに掲げていた「応募総数 12,000 首以上」はコロナ禍の中、惜しくも未達成。(11,942 首)</p> <p>一般の部、児童・生徒の部ともは昨年よりも人数・歌数ともに微減した。</p> <p>応募料を下げたので、応募料の収益は昨年より下がったことになったが、短歌大会の応募も関東、中部地方の方からの応募も増え、少しずつではあるが、新しい方からの応募も増えてきた。今度の活動においては期待できる結果につながったと考えられる。</p> <p>応募者数：11,543 名、11,942 首</p> <p>一般の部（1 人 5 首まで応募可能） 73 名、201 首</p> <p>児童・生徒の部（1 人 1 首）</p> <p>小学生 8,334 名 中学生 2,694 名 高校生 318 名</p>						
事業効果	<p>例年通り今年も、応募に対するモチベーションを上げる目的で、「契沖大賞」だけでなく、知事賞、教育長賞など多くの賞を設定することに成功した。</p> <p>事務局を大学内に置くことによって学術的になり、多くの学生・生涯学習受講者へのアピールにつながった。</p> <p>大学生の応募を推進した結果 124 名 395 首の応募があった。今年はコロナ禍の中、全体的には応募は若干減少したが、新しく大学生の応募があり、また、一般応募も中部、関東地方からの応募もあった。</p> <p>また、例年であれば短歌大会当日での講評を楽しみに来られていたが、大会が中止になり、「詠草集」での講評となったが、これについては、良かったとの評価をいただいた。</p>						

補助金交付
終了後の事
業展開、今
後の展望

本年は「契沖の会」を紙媒体以外でもアピールすべく、ホームページなどを利用して短歌大会や、普段の活動のPRにつなげたが、今後もホームページの充実、SNSの活用により、応募拡大となるよう努めたい。

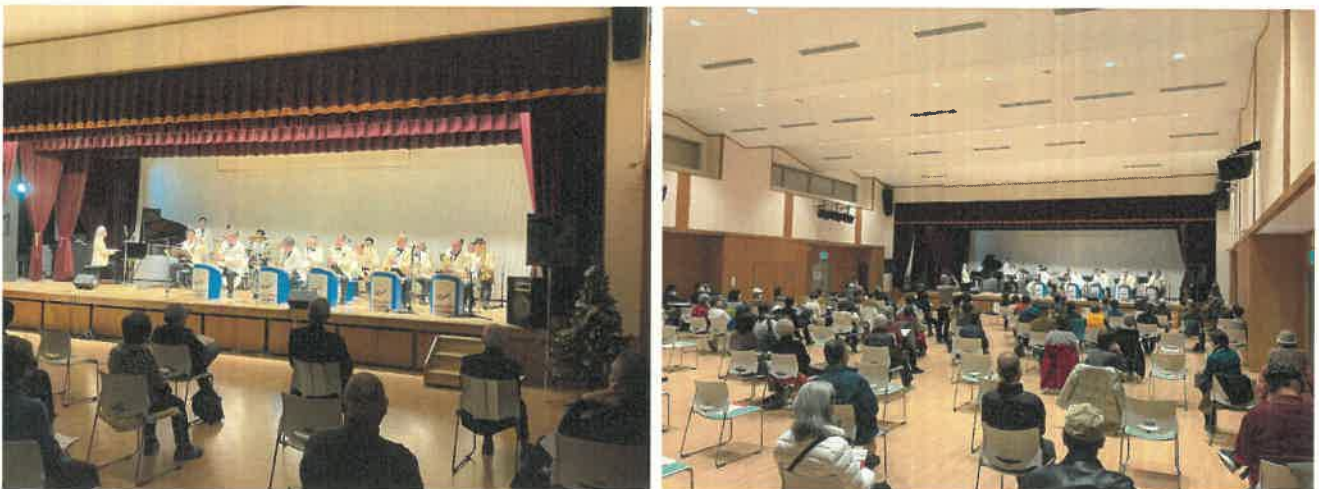
【事業実施状況を示す写真等】



2-5

事業名	ジャズコンサート2020
団体名	コミュニティルーム武庫運営委員会
活動地域	1 (尼崎) 市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町:)
協働団体	
事業の目的・趣旨	転出入が多く、地域活動を知らない人が多いという武庫地域の課題解決を図るため、さまざまな世代が楽しめる音楽を通じて、世代間の交流の場を創出する。さらには、参加者の「生きがい・やりがい」を醸成し、地域活性化につなげる。
事業内容	<p>1. 県民交流広場交流会 (8/27) 尼崎市武庫地区内にある県民交流広場の代表者が集い、コロナ禍における活動状況の情報共有やジャズコンサート実施に向けた打合せを行った。 参加者数：7 会館 10 人</p> <p>2. ジャズコンサート 2020 (12/5) 尼崎市武庫地域内の県民交流広場が連携し、本市を拠点に活動するジャズオーケストラを招いてコンサートを実施した。 コンサート開催時には各県民交流広場の取組を紹介し、地域の様々なコミュニティの活動拠点となっている会館のPRもあわせて行った。 これまでは高齢者の参加が主であったが、今年度はより幅広い世代の参加を促すため、クリスマスソングなど子どもも楽しめる曲目も取り入れたプログラムとした。 事業計画時には「ジャズコンサート&ダンスパーティ」としてジャズの演奏に加え、ダンスタイムやふれあい喫茶も設ける予定としていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ジャズコンサートのみの開催とした。 参加者数：83 人 (うち県民交流広場関係者：10 人) ※ジャズ奏者含むスタッフは 26 人</p>

【事業実施状況を示す写真等】



	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	2	8	27	尼崎市武庫西生涯学習プラザ (1Fホール)	県民交流広場交流会 (各会館の情報共有および、事業実施に向けた打合せ)	10人	
	2	12	5	尼崎市武庫西生涯学習プラザ (3Fホール)	ジャズコンサート2020	26人	83人
目標の達成状況	ジャズコンサートへの参加人数：83人（目標：80人）						
事業効果	地域の幅広い世代の交流の場とするとともに参加者の「生きがい・やりがい」を醸成し、地域コミュニティの活動拠点としての県民交流広場のPRを行った。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため定員を絞っての開催となったが、子どもから高齢者まで幅広い世代の参加があった。						
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望	今後も引き続き武庫地域内の県民交流広場で情報共有を行い、連携を図るとともに、次年度以降は自己資金での継続実施を予定している。						

【事業実施状況を示す写真等】



2-6

事業名	「見守る力 応援セミナー」事業
団体名	NPO 法人ゲートキーパー支援センター
活動地域	1 () 市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町：尼崎市・西宮市・芦屋市・伊丹市・川西市・神戸市、他)
協働団体	特定非営利活動法人 宝塚NPOセンター 一般社団法人「office ひと房の葡萄」
事業の 目的・趣旨	身近な人の辛さに寄り添っている人や支援者の方に対して、スキルアップとこころのケアに関するセミナーを開催し、活かしてもらうことを目的とします。また、各回とも気持ちを話せる場を設け、ストレスの解消や困りごとの把握も行います。
事業内容	<p>1. 辛い気持ちに寄り添うヒント</p> <p>【日 時】令和2年8月1日 14:00～15:30</p> <p>【会 場】西宮市大学交流センター</p> <p>【対象者】兵庫県ひきこもりサポーター 支援者、一般の方</p> <p>【講 師】メンタルワークス大阪など 代表・臨床心理士 岡崎 剛 氏</p> <p>【内 容】ひきこもりの当時はや家族を支えるためのコミュニケーションの具体的な方法として「CRAFT」プログラムについてご講演していただきました。「叱咤激励」をやめること。ひきこもりを止めたい気持ちと続けたい気持ちの両方あることを認めること。正論を捨てる。日々の積み重ねで警戒心を解いていく。家族もしっかりとセルフケアが必要なこと、等</p> <p>【概 要】コロナ感染の第2派の影響で、参加者が3名という少なさでしたが、岡崎氏が参加者と双方向のやりとりをしながらすすめていただいたので、講師と参加者、参加者同士の交流ができた。</p> <p>2. 生活にセルフケアをプラス ～ 自分の気持ちが楽になると、周りも楽に ～</p> <p>【日 時】令和2年9月12日 14:00～15:30</p> <p>【会 場】尼崎市立すこやかプラザ</p> <p>【対象者】支援者、ひきこもりや精神疾患の家族会、一般の方</p> <p>【講 師】メンタルフィットネス 代表 下口 雄山 氏 ゲートキーパー支援センター 理事長 竹内志津香</p>

【内 容】 第一部 ゲートキーパー支援センターより

- ・自殺予防のゲートキーパーについて
- ・支える側のストレスと二次受傷／・マインドフルネス

第二部 メンタルフィットネス 代表 下口 雄山 氏

- ・3つのプラス思考トレーニング ・笑いの医学的効果
- ・自律訓練法

第一部はゲートキーパー支援センターより「支える側のストレスと二次受傷」などについてお話させていただき、マインドフルネスの呼吸法を体験していただきました。

第二部は下口雄山先生が、笑いの効果や潜在意識の不思議さなどをお話いただきました。「5回笑って、3回寝て下さい！」笑いに包まれた不思議な研修でした。全体を通して音楽が流れ、こころをリラックスさせ、疲れや体のコリまでとれる、音楽に乗った自律訓練法「とれたくん」を参加者全員で行いました。

【概 要】 コロナの中、開催を悩みましたが、こんな時だからこそ、明るくリラックスできる下口先生の研修を受けていただきたいという思いも強く、少し感染が落ち着いてきたので、開催に踏み切りました。

参加者は11名、申込時は15名でしたが、コロナ不安で4名の方が欠席されました。

会場では、心が楽になった、手が温かくなったなどの感想をお聞きしました。

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	2	6	26	法人事務所	打ち合わせ会議 (1回目)	3名	
	2	7	20	office ひと房の葡萄	打ち合わせ会議 (2回目)	2名	
	2	7	28	宝塚 NPO センター	打ち合わせ会議 (3回目)	3名	
	2	8	1	西宮市大学交流センター	辛い気持ちに寄り添うヒント	3名	3名
	2	9	12	尼崎市立すこやかプラザ	見守る力応援セミナー	4名	11名
	3	2	28	法人事務所	振り返り会議	4名	
目標の達成状況	<p>「各回、定員を目指す」を数値目標にしました。コロナウイルスは夏は感染が減るのではないかと8月に計画しましたが、第2波が来て、開催自体もどうしようかと悩みました。宝塚 NPO センターの担当者とも相談し、距離を取り安全に開催しようということになりました。結果、3人の参加にとどまりましたが、気をつけすぎることはない状態だったので、安全に行えたという点では良かったのではないかと思います。第2回目は15名のお申し込みがありましたが、当日は11名の参加となりました。目標には届きませんでした。感染予防からは丁度良い感じでした。</p>						
事業効果	<p>上記にも書きましたが、コロナの影響で開催すること自体の判断に悩みました。しかし、一回目の「辛い気持ちに寄り添うヒント」では、講師から参加者への一方向のセミナーではなく、参加者、スタッフをまじえ、辛さを語り合う時間が持てました。支援者として誰かのために来ておられる方達もご自身の悩みがある中での参加だったので、とても満足感が大きかったとのこと。また、研修内容については、ひきこもりサポーターとして活かしていただけだと思います。</p> <p>2回目の「見守る力応援セミナー」のアンケートでは、「体の不調や気持ちの落ち込みが改善された」、「障害者支援に関わっているので施設で自律訓練法をやりたい」など、それぞれの方が自分や支援している人のために学んでいただきました。この研修を受けた方が支援を受ける人や周囲の人に伝え、よい循環になるのではないかと思います。</p>						
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望	<p>2年間にわたって補助をいただき、ありがとうございます。</p> <p>コロナ禍で自殺者が急増しており、今後も心配な状況が続きます。「誰もがゲートキーパー」という目標に従い、自殺予防のゲートキーパーを専門家だけでなく、市民の方にも知っていただく活動を中心に行っていきます。また、そのなかで支援者の支援「ケアフォーケア」も引き続き行っていきたいと思っています。</p>						

【事業実施状況を示す写真等】

「辛い気持ちに寄り添うヒント」

日時：令和2年8月1日

会場：西宮市大学交流センター



「見守る力応援セミナー ～自分の気持ちが楽になると、周りも楽に！～」

日時：令和2年9月12日

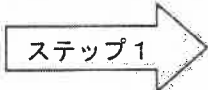

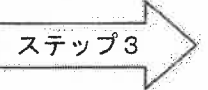
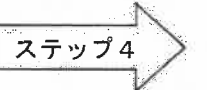
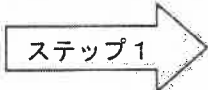

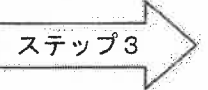
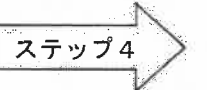
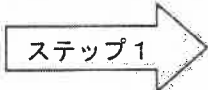

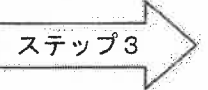
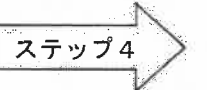
会場：尼市立すこやかプラザ 多目的ホールB室



事業名	「魅力ある園田のまちづくり・グランドデザイン」の提唱
団体名	園田まちづくり委員会
活動地域	1 (尼崎) 市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町:)
協働団体	NPO 法人尼崎-夢まち-委員会
事業の 目的・趣旨	<p>① シチズンシップとまちの魅力の向上を目的に、行政主導から市民主体による、まちづくりのアイデアを事前に提案し、情報公開によって、行政・市民双方の意識化を図りつつ、具体的な事業化を検証する。</p> <p>② 市内6行政区で一律の公共サービスを楽しむのではなく、各々地区ごとに、その地域に見合ったサービスやまちづくりの為のアイデアなど、魅力ある地元園田のまちづくり・グランドデザインを企画・提案する。</p>
事業内容	<p>① 地域の共通課題である、水害等の防災をテーマにした安心・安全のまちづくりを具現化する為の(総合治水・防災拠点施設立地等)、園田地域全体の広域的まちづくりガイドマップとして、インフラ整備計画等、実践的な活用を試みる。</p> <p>② 地域の特性や地元の歴史を認識し、園田地域をPRできる観光ガイドマップとしての歴史的・文化的検証やイベント情報の発信等、実践的な活用を試みる。</p> <p>③ 幅広い地域の課題解決と、想定されるニーズに基づくまちづくり・郷土創生を試案する為のガイドラインと成る、園田のグランドデザインを、『まちづくり・観光ガイドマップ'19』の具体的な検証を基にリファイン、行政と市民によるパートナーシップに基づく協働提案と、更に具体的総合的まちづくりを実践。同マップは園田地域の関係町会・自治会へ回覧する(各総部数:1,000部)</p> <p>④ 限られた避難所(定員)を周知し、効率的な避難行動を誘導する為の社会的秩序と体制(コミュニティ)を計画的に形成して行く際のガイドラインとする。</p> <p>⑤ 地元を自慢できる園田の特性を周知し、地域の商店や学校関係、協力企業等との連携を具体的に提案・実践し、観光の視点でまちの賑わいをプロモートする。</p> <p>⑥ 官・民双方の効率的な公共サービスへの理解と周知、都市機能の補充と分担を検討する等、園田地域の広域的連携と共生を考える事で、コンパクトにして住みたいまち・園田モデルを協働提案する。今後更なるまちづくり情報の発信と充実を図る中、まちの将来像の検証に向け、ワークショップの結果(アイデア)を参考にし、段階的かつ具体的に提案・実践を試みる。(企画・プロデュース)</p> <p>1. 特定の個人、団体、一地区の利害だけを考える事なく、あくまで園田地域全体の利益や社会貢献となる、まちづくり活動を提案・実践する。</p> <p>2. まちを総合的に整備する為の計画・デザイン・運営を、市民の目線で提案し、行政と市民が協力して「都市計画」と「まちづくり」の連続的一体化を図る。</p> <p>3. 園田まちづくり委員会の定例会議(理事会)で、一般公開するまちづくり会議(学習会・ワークショップ等)を通して、あらゆる情報を共有し、参画・協働を呼び掛ける。</p>

事業報告 令和	年	月	日	場所	実施（研修）内容	参加者状況	
						地域団体	参加者
	2	3	4	東園田町 総合会館	『阪急園田駅周辺まち協設立』 まちづくりアンケート実施	尼崎市 地元・町会	
		6	24	園和コミュニティ	まち協：第1回理事会参加支援 ①会の運営②活動の方向性 [まちづくりアンケート確認]	当委員会 (4名)	20名
		7	8	園和コミュニティ	まち協：第1回常任理事会参加 ①要望・提案②ローリ-計画案	当委員会 (3名)	11名
			21	富田高安会館	まち協：第2回理事会参加支援 ①要望・提案書②交通動線	当委員会 (3名)	20名
			26	下食満 福祉会館	総会報告確認（基調講演中止） 阪急園田駅前ロータリー開発 阪急園田駅周辺まち協⇒7/21 [構成人員：26名（5団体）]		12名
		8	19	園和コミュニティ	まち協：第2回常任理事会参加 ①要望提案②ローリ-計画A・B案 [歩行者最優先・歩車分離] [まちづくりアンケート再確認]	当委員会 (3名)	8名
			25	富田高安会館	まち協：第3回理事会参加 ①要望提案②ローリ-計画A・B案 [歩行者最優先・歩車分離] [スクラ-ル交差点・空中デッキ]	当委員会 (4名)	20名
			30	椎堂福祉会館	阪急園田駅周辺まち協⇒8/25 園田駅前開発に関するアドバイ [開発区域の形態×2案検討] ⇒委員会は地域のコーディネ-ター役	当委員会	12名
		9	16	園和コミュニティ	まち協：第3回常任理事会参加 ①要望提案②ローリ-計画A・B案 [歩行者最優先・歩車分離] [スクラ-ル交差点・空中デッキ]	当委員会 (3名)	8名
			27	若王寺 福祉会館	阪急園田駅周辺まち協⇒9/29 [開発区域の形態×別案検討] 駅前・周辺環境の整備に理解 地元町会・商店街が主体となる	当委員会	12名
			29	富田高安会館	まち協：第4回理事会参加 ①ローリ-利用計画A・B⇒C案 [歩行者最優先・歩車分離] [スクラ-ル交差点・空中デッキ]	当委員会 (3名)	13名
		10	14	園和コミュニティ	まち協：第4回常任理事会参加 ①ローリ-利用計画C⇒C1・C2案 [歩行者最優先・歩車分離] [商店街・通学路+コミュニティ配慮] [スクラ-ル交差点・空中デッキ]	当委員会 (3名)	6名

2	10	16	地域振興センター	阪急園田駅前道路整備計画 ⇒地元関係者の協議会を設立 阪急園田駅前まちづくり会議 [提案書(7項目)地域課提出] ①ロータリー立体的利用計画⇒C1案 [地下駐輪場の有効活用⇒EV] ②北側商店街への歩行ルート確保 [スクランブル交差点・空中デッキ] ③北側商用地隣接歩道幅確保 [歩道(自転車)幅員⇒6.0m] ④地下駐輪場出入口位置変更 [地下駐輪場有効活用:スロープ] ⑤バス亭・タクシー乗場位置検討 [乗降場利便性UP⇒バスターミナル] ⑥駅前交番(派出所)設置案:C1 [駅前ロータリー⇒安全・防犯] ⑦駅前交番(派出所)設置案:C2 [駅前ロータリー⇒交流広場・緑地]	当委員会 阪急園田 駅周辺ま ち協	2名 2名	
		25	園和コミュニティ	阪急園田駅周辺まち協⇒9/29 [開発区域の形態×別案検討] 駅前・周辺環境の整備に理解 地元町会・商店街が主体となる	当委員会	1 1名	
		27	富田高安会館	まち協:第5回理事会参加 ①駅周辺まちづくりがドライブ ②住み良いまちづくりの提案 ⇒官民協働によるまちづくり	当委員会 (3名)	1 3名	
		11	11	園和コミュニティ	まち協:第5回常任理事会参加 ■地域課⇒道路整備担当課 ①報告回答を基に改めて協議	当委員会 (2名)	4名
		12	23	園和コミュニティ	まち協:第6回常任理事会参加 ①駅周辺のまちづくりを再考 周辺環境の理解・問題点の整理	当委員会 (3名)	1 0名
		3	3	26	富田高安会館	まち協:第6回理事会参加 ■道路整備担当課⇒提案回答	当委員会 (4名)
28	東塚口1丁目 福 社 会 館			第5回総会 ①阪急園田駅前ロータリーの可能性 『阪急園田駅周辺まちづくり』 ■ロータリー内の利用形態(車両) 【タクシー・バス+一般・商用車】 ■北側公道の利用形態を検討 【尼崎市+阪急⇒車線+ターミナル】 ■南側公道⇒歩行者専用道路 ②東園田町総合会館⇒6月完成 【園田地域⇒コミュニティ核施設】	当委員会 当委員会	1 2名 1 2名	

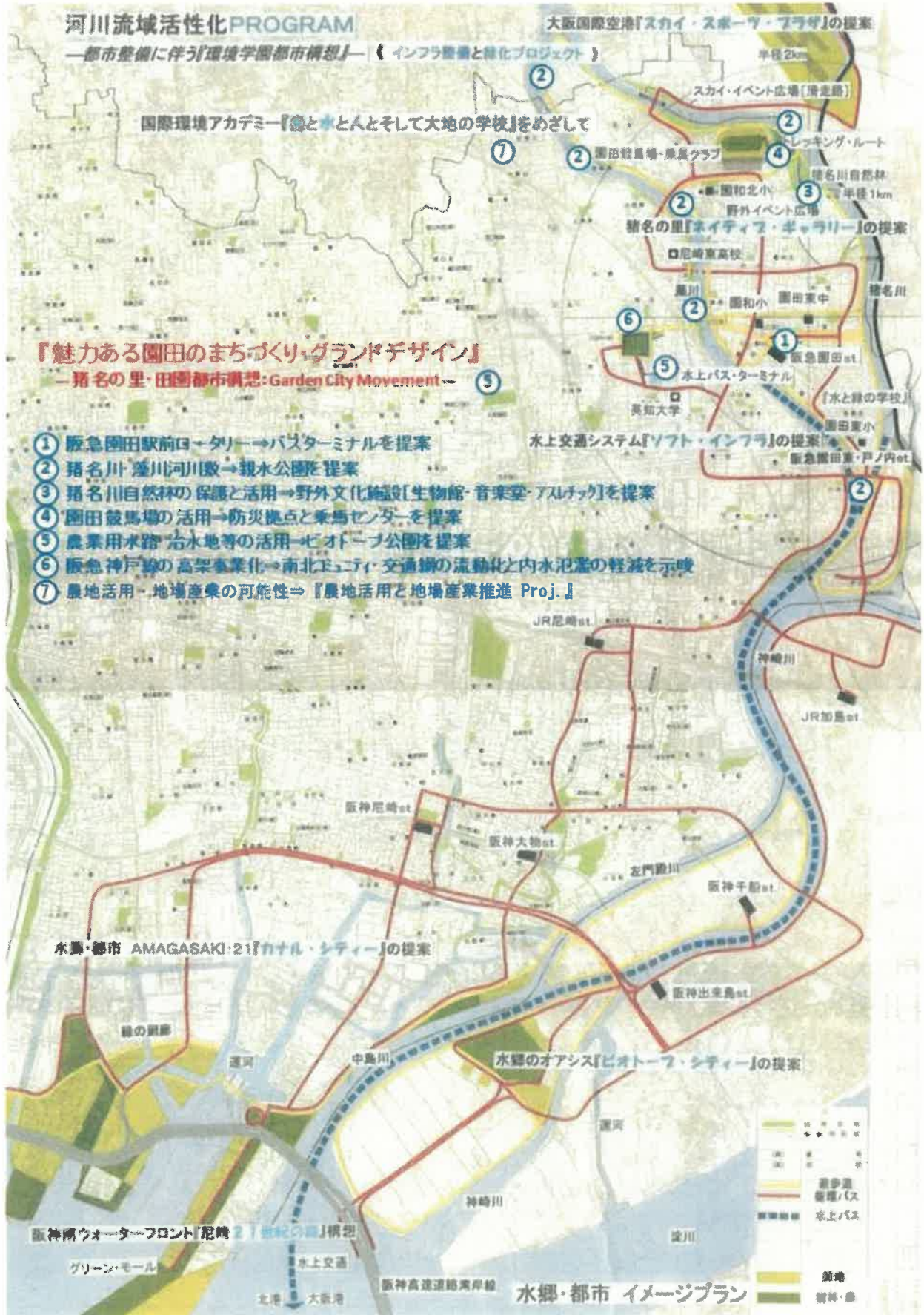
<p>事業効果</p>	<p>① 水害対策と具体的な非難行動の未周知、防災拠点の不在 ⇒新たなコミュニティ会館（東園田町会総合会館）改築工事の事業化と計画支援</p> <p>② 阪急園田駅前及びその周辺環境・インフラ等の未整備実態 ⇒『阪急園田駅周辺まちづくり協議会』設立に際しての協力及び運営の支援継続</p> <p>③ 豊かな自然環境：自然林・河川・農地や歴史遺産等地域特性が活かされていない ⇒藻川河川敷の環境保全と活用で、ビオトープ公園等の試案とその可能性を検討 ⇒猪名川自然林と園田競馬場の間で乗馬（クラブ）センターの事業化を検討開始 上記園田地域の三つの課題を周知し、五つのプロジェクトを始動。地域の商店や学校関係、協力企業等との連携を模索、観光の視点でまちの賑わいをプロモート。 官・民双方の効率的な公共サービスへの理解と周知、都市機能の補充と分担を検討する等、園田地域の広域的連携と共生を考える事で、コンパクトにして住みたいまち・園田モデルの協働提案を目指す。今後更なるまちづくり情報の発信・充実を図る中、まちの将来像の検証に向けて、段階的に取り組む。（⇒企画・プロデュース）</p>																
<p>今後の展望</p>	<p>● 将来のまちづくりに夢と期待が持てるアイデアから、実現に向けた今後の活動のプロセスを楽しめるリアルな社会貢献と地域活性化に期待が持てる。</p> <p style="text-align: center;">「都市計画」と「まちづくり」の連続的一体化</p> <p>都市計画：尼崎市園田地区で、社会的活動を安全に、能率的に、かつ快適に行えるように、必要な空間を合理的に構成し、実現を図る技術[行政施策]。 【①土地利用計画・②施設計画（交通・公園緑地・供給処理施設・公共公益施設）】</p> <p>まちづくり：公共施設・住宅・道路・公園・河川敷等を地域社会の中で総合的に計画・デザイン・運営して行く手法。 【目的：①防災②福祉③道路・公園④景観⑤環境[水と緑]⑥教育[子育て]⑦住宅】 【手法：①住民・地権者主体②身近な生活環境の整備③持続性④地域性重視 ⑤総合性⑥パートナーシップ⑦個人・団体の啓発】</p> <p>● まちなみ・景観の保全に関する制定やルール[協定]づくり</p> <p>● エリア・マネージメント⇒多様な地域形成と活性化を図る/担い手をサポート 地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させる為の、住民・事業主・地権者による主体的な取り組み。</p> <div style="text-align: center;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">2017年度</th> <th style="width: 25%;">2018年度</th> <th style="width: 25%;">2019年度</th> <th style="width: 25%;">2020年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">  ステップ1 </td> <td style="text-align: center;">  ステップ2 </td> <td style="text-align: center;">  ステップ3 </td> <td style="text-align: center;">  ステップ4 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">まちづくり学修会 ワークショップ</div> </td> <td style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">まちづくり学修会 ワークショップ</div> </td> <td style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">まちづくり提案 行政・市民 双方の理解・周知</div> </td> <td style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">まちづくり実践 行政・市民 双方の理解・周知</div> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">① 防災マップ ② ガイドマップ ③ グランドデザイン ⇒ まちづくり ・ガイドライン</div> </td> <td style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">避難所周知⇒効率的避難誘導⇒体制・コミュニティ</div> </td> <td style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">地元自慢⇒商店・学校・企業連携⇒地域プロモート</div> </td> <td style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">公共サービス⇒都市機能補充・分担⇒広域的連携・共生</div> </td> </tr> </tbody> </table> </div>	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	 ステップ1	 ステップ2	 ステップ3	 ステップ4	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">まちづくり学修会 ワークショップ</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">まちづくり学修会 ワークショップ</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">まちづくり提案 行政・市民 双方の理解・周知</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">まちづくり実践 行政・市民 双方の理解・周知</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">① 防災マップ ② ガイドマップ ③ グランドデザイン ⇒ まちづくり ・ガイドライン</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">避難所周知⇒効率的避難誘導⇒体制・コミュニティ</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">地元自慢⇒商店・学校・企業連携⇒地域プロモート</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">公共サービス⇒都市機能補充・分担⇒広域的連携・共生</div>
2017年度	2018年度	2019年度	2020年度														
 ステップ1	 ステップ2	 ステップ3	 ステップ4														
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">まちづくり学修会 ワークショップ</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">まちづくり学修会 ワークショップ</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">まちづくり提案 行政・市民 双方の理解・周知</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">まちづくり実践 行政・市民 双方の理解・周知</div>														
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">① 防災マップ ② ガイドマップ ③ グランドデザイン ⇒ まちづくり ・ガイドライン</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">避難所周知⇒効率的避難誘導⇒体制・コミュニティ</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">地元自慢⇒商店・学校・企業連携⇒地域プロモート</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">公共サービス⇒都市機能補充・分担⇒広域的連携・共生</div>														

【事業実施状況を示す写真等】

活動及び成果写真【まちづくり委員会・学習会・模型】



具体的・総合的な『園田のまちづくり』を推進



2-8

<p>事業名</p>	<p>上ヶ原地区高齢者のいきがづくりと多世代交流活性化事業</p>
<p>団体名</p>	<p>なないろの会</p>
<p>活動地域</p>	<p>1 (西宮)市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町:)</p>
<p>協働団体</p>	
<p>事業の 目的・趣旨</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で地域行事が全て中止となり、外出自粛が続いてきたが、コミュニケーションをとってストレスを発散してほしいとの思いや、こもっている人々を励まし、「顔」を見て、和やかな楽しいひとときを過ごせるつどいの場を提供する目的で、なないろ Xmas フェスティバルを実施することにした。</p>
<p>事業内容</p>	<p>なないろ Xmas フェスティバル(12/13)</p> <p>12/12 会場設営 クリスマスの装飾を飾り付ける 客席は間隔をとって設置, アクリルボード設置</p> <p>12/13 午前中 会場前広場の設営 (バザー品の置き場所, 消毒, 名簿記入用紙) 机を間隔あけて設置, 窓・戸口は全開にする</p> <p>13:00~ マスク着用確認, 手指消毒と検温, 名簿記入後ペットボトル配布 バザー作品鑑賞, 買い物 (子ども達も喜んで探していた)</p> <p>14:00~ コンサート開始 ピアノ演奏と歌, クリスマスソングや昭和の懐メロにハミングで参加, コンサート終了後にバザー提供作品の購入をオークション風にして盛り上がり皆喜んでいた スタッフ以外の方も多数後片付けに協力してくれた いきいきした笑顔と達成感が印象的だった</p>

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	2	10	18	マイマート集会室	第1回打ち合わせ(予防対策他)	9名	
		10	23	-	チラシデザインを依頼	1名	
		10	29	マイマート集会室	第2回打ち合わせ(イベントの内容他)	7名	
		10	30	-	演奏者に出演依頼	1名	
		11	5	マイマート集会室	第3回打ち合わせ(バザー品収集他)	6名	
		11	12	マイマート集会室	第4回打ち合わせ(作品の値付け他)	4名	
		11	25	-	チラシ印刷(コピー店)	2名	
		11	26	マイマート集会室	バザー品の値付け作業	6名	
		12	2	-	チラシ配布		
		12	7	-	コピー(ポスター)		
		12	12	七団集会所	会場設営, 飾り付け, 椅子設置	8名	15名
		12	13	七団集会所	設営, フェスティバル開催	9名	53名
		12	15	七団集会所	装飾整理, 反省会, 次回の構想	8名	5名
目標の達成状況	<p>予想人数の総数50名を上回った</p> <p>参加者総数 62名 (子ども6名)</p> <p>会場入場者 58名 (子ども2名)</p> <p>演奏者 2名</p>						
事業効果	<p>広場に賑やかな笑い声が響き、皆が楽しんでいる様子が見られ良かった。子どもが珍しそうに眺めていた。日頃は見かけない人や、90代の独居の人々も参加してくれた。知らない人同士がバザー作品を見て和やかに話していた。歩いて行ける場所で開催することの良さを実感した。</p> <p>スタッフはもちろん、お手伝いに加わった方々がいきいきと行動し、達成感が表情に表れていた。皆さんに楽しんでもらったので、開催は成功したと思っている。</p>						
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況にもよるが、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なないろ寄席(落語, 浪曲, 講談など) ・ハロウィンまつり(仮装パーティー) ・なないろ Xmas フェスティバル(コンサートなど) <p>などの開催を実現させたい。</p>						



事業名	ウィルキンソン記念館を活用した、地域活性化事業
団体名	ウィルキンソン記念館推進委員会
活動地域	1 (西宮)市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町:)
協働団体	宝生ヶ丘自治会、ぐるっと生瀬運行協議会
事業の 目的・趣旨	<p>昨今、当館がネット上やマスコミで取り上げられ、『ウィルキンソン』の発祥が日本であることが広く知れ渡るようになってきた。</p> <p>その認知度を更に引き上げる為のPR活動を行なうとともに、当館で保管する展示物の充実を図り、その歴史的価値を再認識してもらうことで来館者の増員に結びつけ、最終的には西宮北部の観光資源を活かした、西宮北部地域の活性化につなげる事を事業目的とする。</p>
事業内容	<p>10月10日:宝生ヶ丘自治会のタイムカプセル開封事業と合同でウィルキンソン記念館PRイベントを実施。</p> <p>コロナ禍であり、当初見込みより参加者は減ったものの約30名が参加。集会所にポスターを掲示し宝生ヶ丘自治会員としての協力を依頼。参加者より展示品(バヤリースオレンジの古いビン)寄付あり。</p> <p>*この間、インスタを開始。</p> <p>11月8日:インスタよりウィルキンソン記念館内の展示品の充実を発信。また、宝生ヶ丘自治会定例会でウィルキンソン記念館の情宣実施。近隣住民だけでなく、他の地域からも来館者があった。約30名の来館者あり。</p> <p>2月14日 地域コミュニティー「ぐるっと生瀬」の情報紙『ぐるっと生瀬でGO』への掲載決定。3月のP2へ掲載。</p>

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	2	10	10	宝生ヶ丘集会所	6/6～8/1の活動はコロナにより、くすのき会館閉館により中止 9月5日予定の講演会は、参加者が高齢であること鑑み11/8へ延期。	7名	30名
		11	8	くすのき会館	宝生ヶ丘自治会の集い (ウィルキンソン記念館PRイベント)	5名	30名
	3	2	28		内覧会 【生瀬小学校児童の見学会:中止】		
目標の達成状況	<p>・当時を知る方々の高齢化が進んでいることもあり、コロナ禍軒並みイベントを中止せざるを得ない状況となり、当初見込みより大幅に講演会の開催回数・参加者は減った。</p>						
事業効果	<p>・生瀬小学校校長への校外学習提案。宝生ヶ丘自治会への協力要請。地域コミュニティ「ぐるっと生瀬運行協議会」への協力依頼等を進め、またインスタの活用により、地域の認知は進んだ。</p> <p>また、インスタによる情報発信により地域外からの来館者も増えた。</p> <p>・当時の商品や情報が徐々に集まるようになり、また、賛同者からの寄付を得ることができ、記念館内の展示品の充実が図れた。</p>						
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望	<p>・内覧会用に充実した案内用のパネル、寄贈してもらった展示品等を活用し、まずは当時従業員の講演会を開催し地域住民への更なる情宣活動を進めたい。</p> <p>・また、地域の貴重な歴史的工業品の価値を見出し、小学校の校外学習を実現することにより幅広い年齢層にウィルキンソン(バヤリースオレンジオ)発祥・発展の地として認知してもらい、将来に向け遺産を残すための活動を定着させたい。</p> <p>・インスタの活用により、地域外への認知度向上を進めたい。</p>						

事業実施状況



2-10

事業名	西宮まちなみ発見倶楽部・景観啓発事業 ～パネル展・セミナー&まちあるき・まちなみカフェ～
団体名	西宮まちなみ発見倶楽部
活動地域	1 (西宮)市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町： 阪神間各都市)
協働団体	
事業の 目的・趣旨	<p>今年度は、コロナウイルス感染症予防の観点から、参加者募集の事業がなかなかできず、2月のパネル展まで、メンバー内部のMAPづくりをベースとする調査研究活動にとどまっていた。しかし、コロナ禍であっても景観形成に関心をもつ県民を増やすための場は必要であるという思いから、パネル展やセミナー、まちあるきを開催する前提で準備を進めた。緊急事態宣言の解除時期も延長されたことから、かなり悩んだが、対策を十分に立てた上で開催に踏み切った。目的は以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パネル展やセミナーで西宮の新たな魅力を発見してもらう。 ・鑑賞者参加型の場により、学んで考えて行動するきっかけをつくる。 ・当倶楽部の活動内容を広く伝え、活動への協力者や理解者・共感者を増やす。 ・景観形成に関心をもつ県民を増やし、その輪を広げる。
事業内容	<p>年度末にパネル展、セミナー、まちあるきを、一連の景観啓発活動「まちなみで知る西宮の魅力」として行った。(ただし、まちあるきは西宮オリジナルである早咲きのさくら「今津紅寒桜」を参加者に鑑賞してもらうため、実施は本事業の対象外期間になりましたので、以下には記載しない。)</p> <p>このほか、西宮市役所の展示コーナーへの取材協力・写真提供、西宮市立中央図書館での令和元年度パネルの一部展示も行き、景観啓発のPRの場となった。</p> <p>①パネル展「北部・南部・つなぐ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 開催期間：令和3年2月20日(土)～21日(日)10時～20時(最終日18時まで) ● 開催場所：アクタ西宮東館2階中央広場 ● 展示内容：パネル8枚に、16枚の印刷物を展示 ● 動画上映：西宮市北部(名塩)と南部(今津)を動画で紹介 *動画は展示終了後、YouTubeに公開 ● 参加者数：のべ約600名(アンケートの回収数：48枚) <p>②セミナー「まちなみから見る西宮の魅力」</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 開催日時：令和3年2月23日(火・祝)14時～16時 ● 開催場所：アクタ西宮東館6階大学交流センター大講義室 ● 内 容： <ul style="list-style-type: none"> ・新MAPの見どころ紹介と名塩・今津を紹介 ・対談：「西宮の魅力とまちなみ」についてゲストの岡本順子さんとMAP報告者によるトークセッション ・まちなみカフェ：おさらいクイズと参加者によるフリートーク

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	2020 令和2	6	28	勤労会館	定例会でパネル展のテーマ等確定、企画チームを結成	12名	なし
		7	10	塩瀬公民館* 中央公民館 今津公民館 中央公民館 今津公民館* 今津公民館	定例会でパネル展&セミナー 内容検討、情報共有 今津、名塩各チームで資料収集、視察、取材(*印はチーム 単独会議。それ以外は、定例会 の午後にチーム会議))	定例会 10名 前後 チーム 会議 4-6名	なし
		7	19				
		8	10				
		9	13				
		10	3				
		10	18				
		11	2- 12/11	西宮市役所 1階 展示コーナー	「西宮のまち むかしと今」 写真提供・協力	2名	常駐せず 不明
		11	15	今津公民館* 今津公民館 今津公民館* 越木岩公民館 今津公民館 鳴尾公民館	定例会で検討・情報共有、各チ ームでの活動	定例会 10名 前後 チーム 会議 4-6名	なし
		11	22				
		11	29				
		12	4				
		12	13				
		12	20				
	2021 令和3	1	9	神原公民館 高木公民館			
	1	17					
	2	5- 2	3/3	西宮市立 中央公民館	ブックフェアと関連展示 「阪神間モダニズムのはじまり」 ヴォーリズのパネル提供	2名	常駐せず 不明
	2	7		今津公民館	パネル展、セミナー確認	10名	なし
	2	20 21		アクタ西宮東館 2階 中央ひろば	パネル展 2020 開催	のべ約 50名	のべ約 600名
	2	23		大学交流センター 大講義室	セミナー開催 まちなみカフェ実施	11名	4 42名
	2	28		YouTube 公開	動画の作成(2月)・公開	2名	対象期間内 視聴なし
目標の 達成状況	<p>①パネル展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成金が申請の4割になったため、3日の予定だった開催期間を2日間に縮小して行った。また、緊急事態宣言発出中でコロナウィルス感染予防のためソーシャルディスタンスを保ち、積極的な説明やアンケートのお願いをしなかった。このため、アンケート回収数は例年の3分の1ほどにとどまった。一方、来場者は例年通りで、日曜日が若干少ないと感じた程度だった。 ・初めての試みとして、動画上映とMAPの販売を行った。動画やMAP販売に足を止める方も多く見られた。 ・アンケート結果を見ると、初めてパネル展を鑑賞した方が半数程度だった。昨年度までは圧倒的に通りすがりで初めて見る方が多かったのに比べると少ないのは、初めての鑑賞者に積極的に声をかけられなかったためと思われる。一方で、半数のリピーターからは、展示内容や活動に期待する声があった。 ・応援団という位置付けのサポート会員申込者もあり、景観啓発活動の輪を広げるきっかけとなったと言える。 						

<p>今後の展望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●幅広い年齢層へのアプローチ <ul style="list-style-type: none"> ・多様な媒体の活用により、多様な層への情報発信を積極的に行う。 ・今回初めて取り組んだ動画は、メンバー内でも関心が深まったことから、動画編集のできるメンバーを増やし、今後も積極的に動画での発信を行っていきたい。 ●集まらない啓発活動 <ul style="list-style-type: none"> ・コロナウィルス感染予防対策は当分必要と考えられることから、集まらないで啓発できる方法も考えたい。(オンライン型のイベント) ●参加型の企画 <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン型も含めて、参加者が参加した成果としてアウトプットが出せるような、相互交流的な取組みも検討したい。 ●西宮市から兵庫県、他府県へ <ul style="list-style-type: none"> ・阪神間で活動しているメンバーもいること、阪神南地域ビジョン委員会のメンバーから関心を持たれていることから、周辺自治体の住民との連携・協力できる新たな取組みも考えたい。 ●収入源の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・YouTubeによる動画配信で収入を得るには相当の頻度で質の高い動画を公開しなければいけないが、メンバーの半数は仕事をしている現役世代なので財源確保の活動に注力を注ぐのは難しい。 ・しかし、コロナ禍にあってイベントができなくても当倶楽部の特徴を生かした財源確保につながるような取組みは模索していきたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・応援団としてのサポート会員を増やすこと。 ・これまで発行したMAPの改訂版を発行すること。新規MAPの発行と合わせて、市内全域を網羅し一定のボリュームを持って発信すること。 ・さらに、蓄積してきた情報の再編集による冊子などを発行すること。 ・景観やまちづくりに関する受託事業が取れるよう法人格を取得すること。そのため法人化に向けた検討を行うこと。
--------------	---

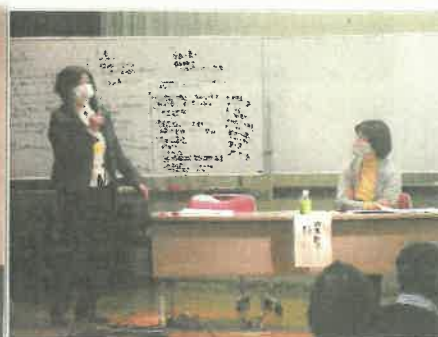
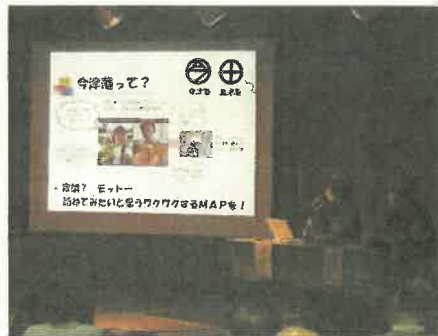
	<p>②セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パネル展と異なり、初めての参加は30%弱、7割がリピーターであった。 ・倶楽部メンバーからの報告、西宮の情報発信基地「西宮流」の岡本さんをゲストに招いた対談、まちなみカフェ（クイズと交流）の3本立てのプログラムは、異なる視点からまちなみについて考えてもらえる時間となった。 ・会場からの質問も活発にあり、また、アンケート結果からもまちなみに対する関心が深まったと思われる回答が得られた。（記述式につき、定量的な結果ではないが、数名を除き、良好な回答であった） ・市外からの参加も23%あり、市内に留まらず阪神間への発信ができた。 <p>③西宮市との連携事業（アクタ西宮以外での展示）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当倶楽部の協力による展示が市内2ヶ所で開催された。2ヶ所とも当倶楽部の紹介パネルも設置いただき、景観啓発につながった。
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> ●連動企画による相乗効果 <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度と同様、パネル展とセミナー（対象期間外だがまちあるきも）は、同一テーマで行った。 ・情報のベースは同じだが（名塩、今津）、視点や方法を変えて（報告、対談、クイズ）発信することで、異なる関心を持つ人々への発信ができた。 ・「入口」を増やすことで、まちなみ・景観への関心の輪が広がると確信した。 ●イベントの数より質 <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度は新型コロナウィルス感染予防の観点から4月～5月のリアルな活動は自粛（自粛期間は、前年度の2月末～5月まで約4ヶ月）し、参加型の事業も全くできなかった。倶楽部メンバーの活動もMAPづくりに留まったため、これまでの参加者に対して情報発信ができないまま時間が過ぎていった。 ・そこで、メンバーが温めてきた企画内容やMAPづくりで得た情報の一部をSNS上で少しずつ発信してきた。2月に満を持してイベントを行ったわけだが、絞り込んだ取組みによって、パネル展もセミナーも質の高い内容となった。 ・この間、昨年度までの活動を評価いただいている西宮市から情報提供を求められ、当倶楽部協力による展示ができた。 ・さらに、応援団という位置付けのサポート会員希望者もあった。 ・質を高めることで、一定の理解と評価が得られたと実感している。 ●多様な媒体を活用した広報 <ul style="list-style-type: none"> ・これまで当倶楽部は、日常的にはSNS（Instagram、Facebook、Twitter）で情報発信を行ってきた。イベントの告知はこれらに加えて、案内希望者約200名（うち郵送希望が約70名）へのDMおよびチラシの設置（主に公共施設）が中心で、申し込み受付は、基本的に電話で行ってきた。 ・この度、セミナーとまちあるき（対象外事業）の申込みについて、WEB上の申込フォーム（Googleフォーム）を活用したことで、WEBからの受付が電話を上回り、これまでの参加者とは異なる層の取り込みに成功した。 ・さらに動画上映は、大変好評であった。YouTubeアップが2月末だったため、視聴回数の検証は事業期間内にはできていないが、3月以降確実に増えている。 ・紙媒体にこだわらない広報活動の効果が見えてきたと言える。

【事業実施状況を示す写真等】

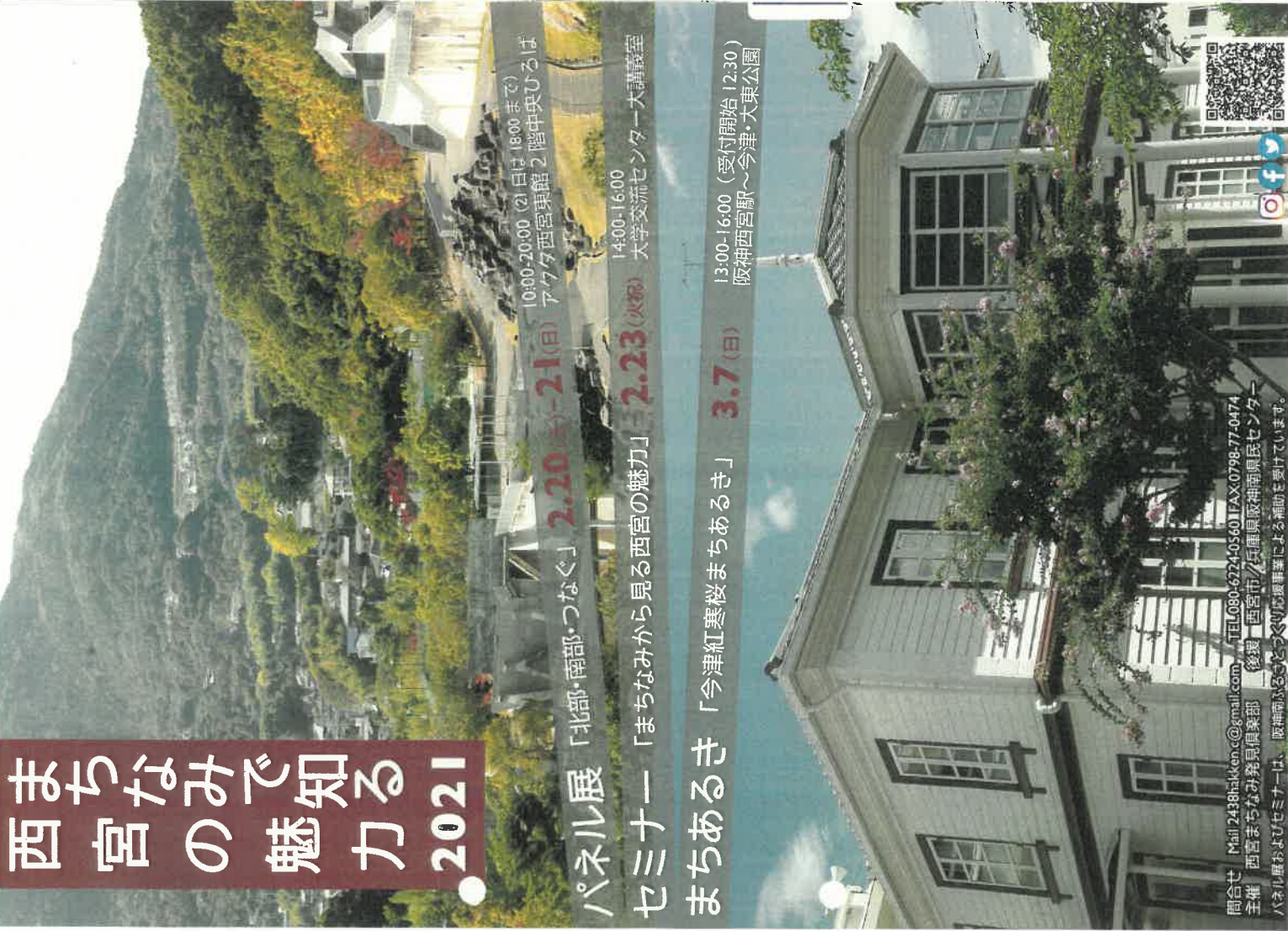
①パネル展「北部・南部・つなぐ」



②セミナー「まちなみから見る西宮の魅力」



西宮の魅力を まちなみで知る 2021



西宮の魅力をまちなみ景観から解き明かす！

わがまち西宮市では、景観資源を活かして都市景観をまもり、つくり、そだてるため、昭和63(1988)年に「西宮市都市景観条例」を制定。この条例に基づき「西宮市都市景観基本計画」を策定し、まちなみ景観に寄与する建築物や維持管理の活動を講ずる都市景観賞、地区ごとの景観計画、公共サインのガイドライン作成など、様々な角度から景観に関する取り組みを行っています。

西宮まちなみ発見倶楽部は、こうした行政との情報交換・連携を取り組みました。これらの活動で得た情報をもとに、市民共有の財産である景観の観点から、私たちの住む西宮の魅力を解き明かす機会として、パネル展、セミナー、まちあるきを実施します。

パネル展 「北部・南部・つなぐ」

2021.2.20(土)~21(日) 10:00-20:00 (21日は18:00まで)

アクト西宮東館2階中央ひろば 入場無料 予約不要

(阪急西宮北口駅北出口2階デッキよりすぐ)

- MAPの対象地域である西宮市北部(名塩)と南部(今津)のまちなみ
- 北部と南部をつなぐJR福知山線沿線と阪急今津線の今昔写真
- 景観啓発コーナー「境界領域(セミパブリックゾーン)」
- 北部と南部、動画で紹介

セミナー 「まちなみから見る西宮の魅力」

2021.2.23(火・祝)14:00-16:00 (受付開始13:30)

会場 大学交流センター大講義室
(アクト西宮東館6階)

参加費 500円 定員 50名(先着順)

要申込 電話または申込フォームよりお申込みください

申込フォーム <https://bit.ly/3rYkX5r>

電話 080-6224-0560



ゲスト

岡本順子さん

西宮市
(にしのみやスタイル)
編集室 代表

夫の赴任地であったブラジルのリオデジャネイロから帰国した1986年4月から西宮市民。二人の子供のPTAや地域活動に参加したり、福祉系のNPO法人にいたこともあった。2006年に西宮流の立ち上げに加わり現在に至る。2015年より、ららぽーと甲子園2Fの『クリエイティブにのしみや』が拠点。月に一度、さくらFMで番組も持つ。

プログラム

13:30 開場・受付開始

14:00 開始挨拶

報告：新MAPの見どころ紹介
今津・名塩

14:30 対談：西宮の魅力とまちなみ
ゲストの岡本さんと
報告者による
トークセッション

15:30 まちなみカフェ

おさらいクイズ

会場のみなさんと

フリートーク

16:00 終了

まちあるき 「今津紅寒桜まちあるき」～西宮で発見された早咲きの桜～

2021.3.7(日) 13:00～16:00 (受付開始12:30) 小雨決行

集合場所 阪神西宮駅 市役所口1階

コース 阪神西宮駅～西宮東口商店街～松原天満宮～津門神社～阪神今津駅

～水木しげる邸宅跡～今津六角堂～大東公園 (今津紅寒桜鑑賞)

参加費 500円 定員 20名(先着順)

要申込 電話または申込フォームよりお申込みください

申込フォーム <https://bit.ly/38i0VWd>

電話 0798-43-3402 (株本)

*2/10より予約受付を開始します。



津門の入り海の痕跡をたどりながら歩きます。ゴールの大東公園では西宮で発見された新品種の桜を鑑賞します。

約4kmのコースをすべて徒歩移動します。歩きやすい服装、靴でお越しください。

問合せ

Mail 2438hakken.c@gmail.com

TEL.080-6224-0560 FAX.0798-77-0474

西宮まちなみ発見倶楽部

問合せ Mail 2438hakken.c@gmail.com TEL.080-6224-0560 FAX.0798-77-0474

主催 西宮まちなみ発見倶楽部 (後援) 西宮市/兵庫県阪神南泉民センター

パネル展およびセミナーは、阪神商工組合中央会(産)の協賛による補助を受けています。



Instagram icon

Facebook icon

Twitter icon

2-11

事業名	町の図書館整備による地域の見守り推進事業						
団体名	NPO 法人人と地域の活動応援団ぽっかぽか						
活動地域	1 (西宮)市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町:)						
協働団体	瓦木地区青少年愛護協議会						
事業の 目的・趣旨	<p>県民交流広場として整備した交流スペースに設置している図書を借りたいという要望が多いため、図書を整理し貸し出しのシステムを作りたい。</p> <p>保育士資格、社会福祉士などの資格があるメンバーが中心になり、貸し出しや返却の時に関わることにより見守りにつなげたい。</p>						
事業内容	<p>対象者：近隣住民が中心だが、校区などは限定しない。</p> <p>実施方法：本を登録し、貸し出しカードを作成する。本に番号や蔵書印を押すなど、貸し出しの準備をして、夏休み前をめどに貸し出しを開始する。必要な図書を買足す。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、当初予定していたお話し会は中止し、ひろば内に掲示にて、小規模のお話し会を開催、お話し会の講師の方にエプロンシアターと巻き絵芝居を披露してもらった。</p>						
事業経過	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
	2	6	22	ぽっかぽかひろば	蔵書整備20日間	2×20名	
	2	8	7		お話しひろば練習2日間	3×2名	
2	9	22	ぽっかぽかひろば	お話しひろば	7名	11名	

<p>目標の達成状況</p>	<p>当初お話会の定期開催等を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止や緊急事態宣言の発令により、お話会は短時間で一度のみの開催となった。</p> <p>蔵書整理により本の貸し出しも実施。</p> <p>お話カフェは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために、ひろば内の飲食を禁止しているので、開催中止となった。</p>
<p>事業効果</p>	<p>定期的に絵本や本の貸し出し利用者の存在があった。</p> <p>小さな子ども連れの家族なども、本を利用したり、ひろばの交流スペースで遊んだりすることができ、見守りにつながっている。</p>
<p>補助金交付終了後の事業展開、今後の展望</p>	<p>定期的に絵本や本の貸し出し利用もあり、新型コロナウイルス感染症の状況により今後は当初の目標としていた、お話カフェや定期的なお話会の開催を実施したいと思う。</p>

【事業実施状況を示す写真】



2-12

事業名	「まちなかの小さな里山」について考え、つくるワークショップ
団体名	フライパン
活動地域	1 (芦屋) 市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町:)
協働団体	浜風3住宅団地管理組合、芦屋市道路公園課
事業の 目的・趣旨	市民が自然循環や生物多様性についての知識を深め、植栽、街路樹に対して当事者意識を深めることで、植栽帯の有効活用を図るきっかけづくりをする。
事業内容	<p>1. 「自然循環」と「コミュニティづくり」について学ぶトークライブ (2/14)</p> <p>講師としてミドリカフェ代表ウチダケイスケさん、街づくりコーディネーター平川隆啓さんをお招きし、ウチダさんからは、地域資源の循環利用や参加型の緑化、場づくりのお話などを中心に、平川さんからは、地域の活動を“部活を楽しむように行うコミュニティにする”仕組みなどを中心にお話を伺った。また、参加者からも市内の植栽をより楽しむ方法などの意見をいただき、有意義なトークライブとなった。</p> <p>参加者数： 大人 12 人、子ども 2 人</p> <p>2. 浜風北公園でのコンポストBOXづくりワークショップ</p> <p>浜風北公園で地域の参加者とコンポストBOXを2つ作成した。普段あまり使用しないノコギリの使い方、コンポストの役割、枝や葉っぱを土へと育てていく自然環境についてのおおぞら教室も行った。</p> <p>参加者数： 大人 18 人、子ども 22 人</p>

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	2		6/3	オンライン	運営会議	3名	
			6/6	市役所	公園の利用などの相談	2名	
			7/10	メンバー自宅	運営会議	5名	
			9/1	市役所	公園の利用などの相談	2名	
			9/25	リードあしや	運営会議	2名	
			10/16	オンライン	運営会議	2名	
			10/17	オンライン	運営会議	2名	
			12/4	オンライン	運営会議	2名	
	3		2/4	リードあしや	フライヤー配布作業	4名	
			2/14	市民センター	第1回学ぶ まちを楽しむトークライブ	3名	12名
2/21			浜風北公園	第2回体験する みんなで作る、つながる	7名	40名	
目標の 達成状況	<p>第1回の学ぶ“まちを楽しむトークライブ”で自然環境や地域資源の利活用について、市民が知識や考えを深めることができた。第2回体験する“みんなで作る、つながる”では、参加者や地域の人たちとともにコンポストづくりを行った。枝や葉っぱを焼却処理ではなく、堆肥にする等、自然循環や地域資源の利活用を体験することができた。今回作ったコンポストは浜風北公園に設置し、にぎわいづくりで終わらせることなく、今後も運用する。</p>						
事業効果	<p>自然環境や地域資源の利活用を参加者とともに学び、ともに体験することで、知識がより一層深まり、そこでの新たなコミュニティが生まれた。また、実際に公園にコンポストを設置することで、地域のことをジブンゴトとして考え、まちを楽しむ体験を味わってもらえた。</p>						
補助金交付 終了後の事業 展開、今後の 展望	<p>浜風北公園に設置したコンポストを軸に、地域課題となっている落ち葉を楽しく拾うお散歩イベントや、定期的に枝や葉っぱをキーワードにしたワークショップを行い、地元のお店や多くの人を巻き込んだ取り組みにしたい。また、自然循環に触れ、考える機会を増やし、芦屋の焼却ゴミを減らすきっかけにする。</p> <p>資金面では、参加費徴収など、補助金だけに頼らない事業運営ができるように努める。</p>						

事業実施状況



2-13

事業名	学んで食べて 個人&地域を健康にする「わいわい食堂」事業
団体名	わいわい食堂
活動地域	① (芦屋) 市 ② 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町:)
協働団体	
事業の 目的・趣旨	<p>高齢化が進み、一人暮らしが多く、淋しく栄養を考えない食事をするが増え、孤立化や健康不良が進んでいる。地域食堂を運営することにより、地域住民が孤立することなく、顔見知り関係づくりによる地域の支え合いに寄与することを目的とする。</p>
事業内容	<p>コロナ禍による外出自粛（緊急事態宣言）により、計画したことはすべて中止となる中、テイクアウトとした。</p> <p>1ヶ月に一度、第4週土曜日 PM5時～、弁当箱にご飯とカレールーと福神漬けを入れ、サラダは別容器に入れた。コープこうべより食材提供を受け、菓子類など、小袋詰めにしてお土産にした。</p>

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	2	7	5	南芦屋浜集会所 出入口	カレーテイクアウト ご飯 カレールー	6名	24名
	2	10	24	〃	福神漬け サラダ	6名	40名
	2	11	28	〃		6名	32名
	3	1	23	〃	その他 ゼリー	6名	31名
	3	2	27	〃	お菓子 お餅	6名	46名
目標の 達成状況	第2土曜日の食事は、テイクアウトは詳しくできなかつた。地域のお祭り等も 飲食不可のため、参加できなかつた。						
事業効果	知名度も上がり、顔見知りも増えた。						
補助金交付 終了後の事 業展開、今 後の展望	今年度実施できなかつたことをできる限りやりたい。						



2-13 (地域コミュニティ再生・活性化)

事業名	地域コミュニティにおける若者元気づくり事業		
団体名	園田北小学校区まちづくり協議会		
団体区分	①自治会、②婦人会、③老人クラブ、④子ども会、⑤消費者団体、⑥青少年育成団体、 ⑦まちづくり協議会、⑧自主防災・防犯組織、⑨その他 ()		
1 団体の現況、課題			
<p>園田北小学校区まちづくり協議会を設立して以来、助け合い、支え合い自治のまちを掲げ、地域課題解決に向けた活動（ちょっと困りごと支え合いの会、ふれあい食堂、100歳体操&ふれあいサロン等）によって地域コミュニティは活性化している。しかしながら、本活動の中核（地域コミュニティリーダー）を担っているのは「元気な高齢者」であり、本来、次期コミュニティ活動を担うべき存在である「若者」は地域活動へほとんど参画していない状況である。そのため、近い将来、地域コミュニティは、高齢化によって衰退し、崩壊の危機に直面する。</p> <p>そこで、この課題を直視し、真剣に若者と向き合うために、「若者生きがいづくりサポートセンター・園田北」（以下、「生きサポ」）を設立し、地域活動に主体的に取り組んでいる高齢者等が若者の生きがいと元気づくり（コミュニティ・ビジネス等）の実現に向けたサポートを行い、ゆくゆくは若者が主体となり地域活性化に向けた活動を行ってほしいと思っている。そして、地域コミュニティ・リーダーの世代交代への機運を高めたい。</p>			
2 地域づくりアドバイザーの派遣を要した理由			
<p>若者の生きがい、元気づくりについては、事業の押し付けではなく、若者と一緒に若者のための地域活性化プランを作成し、その事業において、自己実現と生きがい（地域コミュニティ・ビジネス等）を見いだせることが大事だと考える。</p> <p>アドバイザーの派遣の理由は、私たちと一緒に、若者とのワークショップを開催し、若者がやりたいこと、やりがいのあることなどを引き出し、それを地域活性化ブランドとして、地域をデザインするサポートをしてほしいからである。</p> <p>また若者と一緒に、園田北小学校区まちづくり協議会の「子育て、青年支援事業等」を紹介する冊子を作成し、その活用（若者への加入促進等）についてアドバイスをお願いしたい。</p>			
3 地域づくりアドバイザーの分野、所属・職・氏名			
	分野	所属名	職名
		(株)地域計画建築研究所	馬場 正哲
4 地域づくりアドバイザーの派遣により、達成した事項			
<ol style="list-style-type: none"> 1 地域コミュニティ事業に関心のある若者を集め、17名を役員とする「生きサポ」を設立した。 2 「生きサポ」で、地域活性化に向けて、観光や交流などの事業ごとに担当グループをつくり、若者一人一人の生きがいづくりと地域元気づくり事業を考え、その実現に向けて協議・取り組みを実施している。 3 園田北小学校区まちづくり協議会の「子育て、青年支援事業等」を紹介するパンフレット及び猪名寺自治会のこれまでの改革チャレンジをまとめた冊子の作成・配布を行った。 			

(別紙4-2)

	年	月	日	場所	実施内容	地域づくりコーディネーター	
						時間	人数
事業経過	R2				※詳細は別紙 議事録のとおり		
		7	6	猪名寺会館	生きサポコアメンバーの顔合わせ及び設立に向けた準備・スケジュール検討	2h	2
		8	6	猪名寺会館	設立総会前に若者を集め、準備会(ワークショップ)を実施し事業検討を行うこととなった	2h	2
		8	22	猪名寺会館	ワークショップを実施し、地域の活用できる資源や、方法などを出し合った	2h	2
		9	8	猪名寺会館	設立総会事業計画案の検討・役割分担等を協議	2h	2
		9	30	猪名寺会館	設立総会の内容及び資料に係る協議	2h	2
		10	13	猪名寺会館	設立総会の内容及び資料に係る協議	2h	2
		10	24	法光寺	設立総会の実施(事業計画、役員等の承認及び今後の活動に係る議論など)	2.5h	2
		11	24	猪名寺会館	設立総会の振り返り、今後の各事業の役割分担を協議	2h	2
		12	19	猪名寺会館	各事業の状況報告等	1h	2
		1	28	猪名寺会館	今後の事業提案などを協議	1.5h	1
		2	18	猪名寺会館	各事業の活動報告及び来年度事業に係る協議等	1.5h	2
助言・指導内容	<p>地域コーディネーターには主に以下の役割を果たしていただき、助言等をいただきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議・ワークショップのファシリテート ・生きサポの設立にあたっての規約内容や役員割当て等の体制に係る助言 ・各会議の次第及び議事録の作成 ・各事業活動に係る提案 						

事業効果

- ▼若者がやりたいこと、やりがいのあることや既存の地域資源などをワークショップや会議を通じてファシリテートしていただき、引き出していただきました。このことにより以下のような効果が出ています。
- ・活動をしている又は活動をしたい若者間のネットワークの形成ができました。一例として、農地に井戸を設置したい農業者と井戸堀りの取り組みをしている若者が繋がり、井戸設置の取り組みを実施しました。
 - ・これまでは地域のイベントや地域活性化に資する個々の取り組みなどの情報をまとめて確認する手段がないという課題がありましたが、生きサポで議論し、SNSで地域の情報を共有することとなりました。
 - ・今後の取り組みとして、令和3年5月(予定)に地域の農業者や子ども食堂、写真家、手芸をしている方など様々な方が集まり、フリーマーケットを計画しています。この取り組みに関しても、生きサポを通じた横の繋がり・ネットワークができたからこそその取り組みです。

【事業実施状況を示す写真等】

■運営会議



■ワークショップ 8/22



■設立総会 10/24



自治会の加入に関するお問い合わせは

あなたの自治会は **猪名寺** ・ **南清水** です

- ・自治会は、地域の皆さんの会費によって自主的に運営されています。
- ・加入の手続きは、自治会長、自治会役員までお申し出ください。ご不明の時は下記の問い合わせ先までおたずねください。

加入についてのお問い合わせは
 発行：園田北小学校区まちづくり協議会
 電話：090-3490-8624
 Eメール：uchida@ccb.bal.ne.jp

自治会加入申込書

自治会に加入します。

〃 月 〃 日

住所 _____

氏名 _____

電話 _____

FAX _____

Eメール _____

園田北小学校区まちづくり協議会とは？

園田北小学校区まちづくり協議会は、学区内の自治会と連携することで、まちづくりの推進や「自治のまち」の実現を目指して、地域の様々な課題解決に取り組む団体です。

【園田北小学校区まちづくり協議会の主な事業】

- ・地域における防災教育の推進
- ・自主防災、自主防犯、交通安全等の推進
- ・防災訓練、防災啓発の推進
- ・その他 など

※ 園田北小学校区まちづくり協議会の活動をInstagramにて等アップしています。
 (「#いちごの園田北」で検索してください)

園田北小学校区地図



ごあいさつ

現在の「助け合い、支え合い自治のまち」の足跡は、元氣な歩跡を刻んでいます。若い人たちがパンフレットの「子育て支援活動」を通して、親子の交流など生まれ、楽しく暮らしてきています。

これからは若い人たちが、地域づくりやデジタルビジネスも含めて地域活性化を促してくれることを期待しています。そのために皆さんを支援する「若者生活がいつくりセンター」を設立しました。皆さんによる皆さんのための活動をお願いします！

園田北小学校区まちづくり協議会 会長 内口 大運



園田北小学校区まちづくり協議会 活動紹介パンフレット

※このパンフレットは兵庫県立図書館蔵書センター「豊前県ふるさとづくり情報センター」にて無料配布を行っています。

猪名寺まちづくり

チャレンジ15年の軌跡

エレベーター設置祝賀会



佐藤丘再生プロジェクト



猪名寺忍者学校





石見神楽祭（園田北小学校体育館）

100歳体操&サロン



大蛇が八咫 舞臺囃と乱闘！



3-1

事業名	日頃の生活活動を防犯活動につなげよう!!
団体名	小中島社会福祉連絡協議会
活動地域	1. (尼崎) 市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町:)
協働団体	尼崎東防犯協会
事業の目的・趣旨	地域住民の日頃の生活活動を防犯活動につなげ、地域の防犯力の向上を図ることを目的とした。
事業内容	小中島社会福祉連絡協議会の役員、理事（任期2年）が、地域内における健康のためのジョギングや散歩、犬の散歩、地域の会合に参加などをする際に、「防犯の腕章」または「安心、安全パトロール実施中 小中島町会」の吊り下げ名札を携帯あるいは「安心、安全パトロール実施中 小中島町会」とラミネートしたパネルを装着した自転車等を利用することにより、防犯の視点を持って子供たちの見守りを行うとともに、地域内を通行する他地域の人に対し、当地域における住民の防犯意識が高いことを示し、犯罪の抑制に努めることができたように思う。



	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	2	9	10	小中島会館	役員会	1	18名
	2	9	10	小中島会館	中福祉協会理事会		27名
	2	9	13	小中島会館	南福祉協会理事会		30名
	2	9	16	小中島会館	北福祉協会理事会		25名
	2	9	20	小中島地域	「防犯の腕章」または「安心・安全パトロール実施中 小中島町会」の吊り下げ名札、「安心、安全パトロール実施中 小中島町会」とラミネートしたパネルを役員、理事並びに賛同者に配布し、地域内における日常生活活動時に、携帯あるいは活用してもらった。		100名
3	2	28	～				
目標の達成状況	<p>小中島社会福祉連絡協議会の役員、理事、事業賛同者が、5ヶ月間に日常生活活動を通して防犯活動を行うことにより、小中島地域における街頭犯罪を認知していない状況であり、安全で安心して住めるまちとなっているように思う。また、腕章を尼崎東防犯協会より寄贈を受けるなど、情報交換ができたように思う。</p>						
事業効果	<p>役員、理事、事業賛同者が、日常生活において、単に防犯用の腕章、吊り下げ名札、プレートを携帯することで、特に複数の人が集まりパトロールすることがなくとも、防犯に効果的であり、日頃から、防犯に対する認識を持つことが必要であることが理解できた。また、この防犯活動により、地域住民の防犯意識の向上が図られ、犯罪のないまち安心して安全なまちの実現に前進するとともに、社会福祉協議会の活動の一端を地域住民に示すことができた。</p>						
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望	<p>新たに役員、理事に就任した人に対しても呼びかけて取り組みたい。 また、今後とも尼崎東防犯協会と連携して防犯活動を実施していきたい。</p>						

【事業実施状況を示す写真等】

ラミネートシート



吊り下げ名札



近隣散歩時吊り下げ名札携帯



犬の散歩時吊り下げ名札携帯



自転車の後かごにラミネートシート装着



自転車の前かごにラミネートシート装着



胸章・吊り下げ名札を携帯



配達車輛にラミネートシート装着



3-2

事業名	「元気と活気 長寿社会を楽しむ智恵」事業 ー今からでも遅くないー
団体名	潮江幸齢者ふれあいサロン
活動地域	① (尼崎) 市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町:)
協働団体	西宮いきいき塾
事業の 目的・趣旨	<p>近年長寿社会を迎え、老後をどのように過ごすかが大きな課題になっている。我々の事務所のある潮江地区でも老後をどう過ごしたらいいか分からず、悶々と過ごしている方を沢山見かける。</p> <p>そこで、有志を募り立ち上げたのが「潮江幸齢者ふれあいサロン」である。平成 29 年 9 月に発足したが、毎回会員や有識者、学識専門家に講話の講師をお願いし、その楽しさが評判となり、現在登録会員は 100 名を超えている。</p> <p>お昼に毎回手作りのカレーを食べ、懇談の場を提供しているが、その場で新しい出会いがあり、お互いを刺激しあって生き甲斐を見つけた方も沢山いる。</p> <p>現在でも、会の参加希望や講話の講師希望の引き合いが後を絶たない。</p>
事業内容	<p>1. 開催期日 毎月 2 週・3 週・4 週の火曜日 10:30~12:30</p> <p>2. 開催場所 コミュニティサロンはなみづき (JR 尼崎北側 マンション ラ・ヴェール 11 階)</p> <p>3. 行事の内容 ① 1 時間程度の講話 ② 講話に対する質疑応答 ③ 手作りカレーを食べながらの懇親会</p> <p>4. 講話の内容 (専門家が得意の分野の話をする) ① 時事問題 ② 文化と歴史・郷土史 ③ 自分史の一端 等、多岐に亘っている。</p> <p>5. 今年度の事業 コロナ禍のため、予定していた 18 回の講座を、10 月 11 月の 6 講座しか実施できなかった。 (9 月・12 月・1 月・2 月は中止した)</p>

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過					※9月・12月・1月・2月は、 コロナ禍のため中止		
	2	10	6	コミュニティサロン はなみずき	(講話) 第2回根木良一の自論 講師 根木 良一	6名	15名
	2	10	13	コミュニティサロン はなみずき	(講話) 戦争の悲劇と趣味に生きて 講師 小谷 千代子	6名	14名
	2	10	20	コミュニティサロン はなみずき	(講話) 女性創業者の思いと実践 講師 上月 環	6名	14名
	2	11	3	コミュニティサロン はなみずき	(講話) 第3回根木良一の自論 講師 根木 良一	6名	13名
	2	11	10	コミュニティサロン はなみずき	(講話) 父の遺品と軍歌への想い 講師 立田 英雄	6名	13名
	2	11	17	コミュニティサロン はなみずき	(講話) 「おもさうし」を読む 講師 辰巳 衛治	6名	14名
目標の 達成状況	<p>本年度は、コロナ禍のため、予定していた18回の講座を開設が出来ず、6回の講座を開催しました。</p> <p>しかし、少人数のパソコン講座や音楽会、誕生会などを開催し、集会の趣旨が風化しないように努力し、来年度に向けた反省材料での期間でもあった。</p>						
事業効果	<p>特に目立つのは、自分史の発刊に6名の方が名乗りをあげ、①随想集、②短歌集、③川柳選集などを創作し、それぞれ冊子にし、家族、友人、知人に配布すると驚きと羨ましいとの声が多く聞こえたとのことであった。</p> <p>その友人達もこの集会に関心を持ち、参加希望者が増えている。</p> <p>この活動の広がりを痛感している。</p>						
補助金交付 終了後の事業 展開、今後の 展望	<p>継続してこの集会は開催していくが、もう少し丁寧に参加者の要望を吸い上げ、事業展開に生かしていきたい。</p>						

潮江幸齢者ふれあいサロン（10月行事写真）

令和2年10月6日集会（講話講師：根木良一）



令和2年10月13日集会（講話講師：小谷千代子）



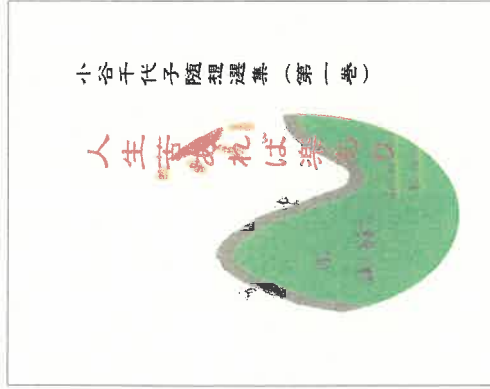
令和2年10月20日集会（講話講師：上月 環）



業 事 行 発 史 の 自 分



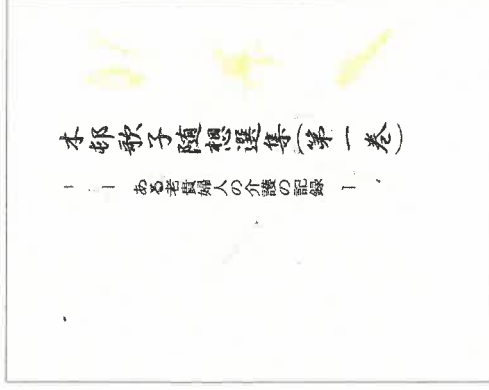
(著者) 石本秀男
(仕様) B5 50頁
制作中



(著者) 小谷千代子
(仕様) B5 30頁



(著者) 浦富健二
(仕様) B5 15頁
制作中



(著者) 木邨歌子
(仕様) B5 12頁



(著者) 熊野恵子
(仕様) A5 100頁
制作中



(著者) 森本和加子
(仕様) A5 35頁



(著者) 只友昌子
(仕様) A5 35頁

3-3

事業名	第2回 小田子どもフェスタ
団体名	小田子どもフェスタ実行委員会
活動地域	1 (尼崎) 市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町：)
協働団体	
事業の 目的・趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・無料のあそび場を提供することを趣旨とする。 ・そこに賛同する子どもに携わる各組織に呼びかけ、実行委員会形式で運営し、子どもが安心安全に遊べる祭りを開催する。 ・
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・昔あそびコーナー ・けん玉や縄跳び大会の参加型のイベント ・催しとして、大道芸、吹奏楽演奏披露など ・食べ物コーナー <p>上記の内容で、行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、内容を少し変更して行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔あそびコーナーは、その場でするのではなく、持ち帰り用をつくり、家庭で遊べるようにした。持ち帰り用などの案を参加団体から提案してもらい制作した。 ・公園ではなく、室内で開催し、名簿を作って入場制限し、2日間の日程で行う。 ・参加型のイベントは、中止とし、参加者に風船を配るなどした。 ・催しものは、1団体のみとし、ソーシャルディスタンスを取れるものとした。 ・食べ物は、持ち帰りのみとする。

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	2	9	16	杉の子保育園分園	第1回実行委員会	3名	10名
	2	10	12	杉の子保育園分園	第2回実行委員会	3名	10名
					チラシ・ポスター貼りだし	5名	5名
	2	11	13	杉の子保育園分園	小田子どもフェスタ(A日程)	5名	40名
			14	杉の子保育園分園	小田子どもフェスタ(B日程)	5名	50名
2	12	6	杉の子保育園分園	第3回実行委員会	3名	8名	
目標の達成状況	90人(2日間日程合計)						
事業効果	<p>子どもに関する組織が、地域のつながりを生かし、子どもの見守りにつなげてくれた。子どもたちの遊びが伝承遊びを通して、豊かになることにつながる取り組みができた。コロナ禍において、密を避け、安心安全にあそびの保証をした。</p>						
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望	<p>コロナ禍だったので、規模の縮小などを余儀なくされたのは、残念だった。子ども達が一番犠牲になっているだけに、今回少しでもできたのは、良かった。来年がどんな状況になるのかわからないが、地域に取り組みを広めて大々的にやっていきたい。</p>						



【事業実施状況を示す写真等】

大人から子どもまで、なつかしい遊びや手作りあそびをたのしもう！

2020年度

小田子どもフェスタ

A日程：11月13日（金）16:00～18:30（乳幼児対象）

B日程：11月14日（土）10:00～12:00（小中学校～大人対象）

場所：杉の子保育園分園（杉ホール）にて

主催：小田子どもフェスタ実行委員会

連絡先：杉の子保育園 長谷川まで

TEL06-6401-5035

*今年度は、感染予防に伴い、AとBの日程に分けて行います。検温、消毒へのご理解とご協力おねがいたします。



3-4

事業名	コロナに負けない！「尼崎空手道交流会2020」
団体名	道慎館
活動地域	1 () 市 ② 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町：尼崎市、川西市、三田市、猪名川町)
協働団体	
事業の 目的・趣旨	<p>兵庫県にはフルコンタクト、伝統派とも、世界統括団体が数多くあり、古くから空手道が盛んで、数多くの世界チャンピオンを輩出、国内外の多数の指導者・選手の交流拠点となっていた。</p> <p>しかし、近年、尼崎市の少子化や子供たちの趣味の多様化もあり、青少年の健全育成の機会喪失や、世界の空手交流拠点としての「尼崎」の地盤沈下が著しい。</p> <p>特に今年度は、コロナ感染症の蔓延防止の観点から対外活動が著しく制限され、市内で開催される世界大会はすべて中止。休止している道場も多く、空手を通じた交流人口の減少が懸念されている。</p> <p>そこで、当館が核となり、特に接触・密接系スポーツ・文化活動におけるコロナ対策のノウハウの普及や、異競技・文化交流、地域住民との交流を図ることにより、交流人口を増やし、地域の再活性化を図りたい。</p>
事業内容	<p>ポスター等により広く事業内容を周知することにより、同じ体育館・グラウンドを利用している他の競技、文化活動関係者、空手に興味を持つ一般の市民等、広範囲・多数の交流を図った。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 コロナに負けない指導法講習会の開催 阪神地区の接触系スポーツ指導者等を対象に、コロナ感染予防対策をとった指導について、実践・意見交換を、公開で開催した。 2 コロナに負けない空手交流大会の実施 抗菌マットやフェースガード等の使用等、1の講習会で共有したノウハウを活用し、万全のコロナ対策を講じた、小中学生を対象とする試合形式の指導実践やオープン参加の市民への体験指導を行うことにより、空手を通じた「尼崎」での多地域・多世代間交流を図った。 3 コロナに負けない異文化・競技交流会 普段から大庄おもしろ広場を使用している、舞踊の会、ダンスクラブ、軽音楽クラブ等と発表を通じた交流を図った。 4 地域住民との交流会 地域の高齢者の指導により地域の伝統料理を調理し、参加者等に振る舞うことにより、地域住民との交流、空手への理解の促進を図った。 5 facebookによる発信 道慎館のfacebookにより国内外にイベントを発信した。

	年	月	日	活動場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業計画	2	9	26	尼崎大庄地区	大庄広場にポスターを掲示するとともに周辺住宅にチラシをポスティング	10	
	2	10	11	大庄おもしろ広場	1 コロナに負けないスポーツ等指導法講習会 2 コロナに負けない空手交流大会 3 コロナに負けない異文化・競技交流会 4 地域住民との交流会 5 facebookによる発信	2 10	100 100 (再掲)
目標の達成状況	1 講習会参加者：指導者 10人 2 交流大会参加者：小中学生 50人 3 観衆（地域住民、おもしろ広場使用他競技指導者、関係者） 50人						
事業効果	<p>今回のイベントを契機に、毎年、タイムリーなテーマで「多地域・多世代交流イベント」を開催することにより、多くのスポーツ関係者が期待する「よりよい知見・実践法」の普及が図られ、「ノウハウの交流拠点」として、「尼崎」のプレゼンスの再興、向上が期待される。</p> <p>また、今後、より秀逸な知見を持つ国内外の多数の指導者、選手が尼崎市に来訪し、体験参加の市民との交流や、少なくとも遠方の方が市内に宿泊・食事・地域住民と交流する事により、地域文化、グルメの発信など、尼崎の活性化に寄与する。</p>						
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望	<p>(次年度以降どのように事業を展開（継続）していくのかご記入ください。)</p> <p>参加者からの好反応に加え国内外からの参加表明があったことから、来年度は規模を拡大し、コロナが収まっておれば、オーストラリア等を含めたグローバルな交流会としたい。さらに、このイベントを機に交流が始まった、日舞等、日本文化団体との連携により、海外に日本・尼崎の文化を発信する。</p>						

【事業実施状況を示す写真等】

1. 日 時 : 令和2年10月11日(日)9時~17時

2. 参加者 : 124人

3. 事業概要

(1) コロナ対策を施したスポーツ指導法講習会

① 滅菌・消毒対策

会場入口にアルコール溶液を置くことで
滅菌対策



② 体温管理

・自宅で体温を測ってきてもらい、さらに会場入口で検温、参加前にサーモグラフィによる体温チェック



③ ディスタンス

・指導者はマスク、ディスタンスをとった基礎練習、トレーニング



(2) 空手大会

- ・試合においては、審判はマスク、選手はフェースガードを着用
- ・マット等は抗菌仕様、計測等は電子計測により不特定多数の接触を回避



(3) 同じ体育館・グラウンドを利用している他の競技、文化・芸能関係者との交流会

- ・舞踊、軽音楽クラブ、ダンスクラブの成果発表、ユーチューバーの漫談等、地域の高齢者・青少年団体との交流



(4) 地域の高齢者の指導による郷土料理のふるまいによる地域住民との交流



(5) 道慎館 FACEBOOK を通じた世界発信

FACEBOOK を通じて大会の様様、肝となる検温、地域団体との交流を発信したところ、コロナ感染症で練習がままならない団体が多く、大阪、兵庫、高知の団体を中心に、問い合わせを受けたほか、興味・関心を持ったオーストラリアの空手団体から参加表明があった



6 成果と反響

(1) 近い将来、世界からの参加による交流の拡大

国内外の空手団体から次回の事業への参加の表明、問い合わせがあり、来年度は規模の大きな会場を確保し、世界大会としての実施を計画予定

(2) 地域の世代間、他競技との交流の創出

普段交わることの少ない、高齢者や他競技の指導者、保護者、選手の交流がうまれた。

(3) 今後の交流活動の継続、地域の活性化

今後、それぞれの団体がイベントを行う際には、演舞披露等で参加することとなり、継続的な交流の輪が繋がった

3-5

事業名	災害時における災害対応能力の向上
団体名	鳴尾北県民交流広場事業推進委員会
活動地域	1 (西宮) 市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町:)
協働団体	
事業の 目的・趣旨	地域の安全、安心のための地域行動力、防災力を身につけるとともに、災害発生時に 即応できる指導者を養成し、避難時に初動行動が的確に実施できるよう研修する。
事業内容	<p>隣接する五町会との連携をとり、各自治会組織の機能を生かし、防災力の向上を 目指すもので、各町会長をはじめ自主防災担当者を指導者として研修する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 防災講演・・・防災に関して基本的な知識（実例を示し）、また指導者の心得を具 体的に教養したもの。 2 緊急時の対応・・・心肺蘇生法を、訓練人形を使用することにより、全員で実施。 また、AEDの活用方法についても蘇生法と同時に行った。 3 消化器の取り扱い訓練・・・屋外で消化器の取り扱い、消火方法を実施。 4 防災資機材の取り扱い・・・防災倉庫に収納されている、資機材を点検から取り扱 いまでを実施。 5 コロナ対応について・・・現状から災害時における避難方法を検討するとともに分 散避難について協議したが、行政の具体的な指針が示されておらず、したがって 各地域での可能とする場所を（案）として話し合った。 <p>以上が当初計画をしていた事業内容であるが、今後も連携を取り、防災に関する理解 を地域全体に広げて安全安心な地域として継続していく。</p>

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	2	10	26	市民館	五町会の会長会議		5名
	2	11	14	西宮市立八つ松市民館および八つ松公園	防災講演（指導者としての教育及び初動行動の確立） 心肺蘇生法 AED 取り扱い 消化器の取り扱い訓練 防災資機材の点検、取り扱い訓練 分散避難方法の検討 各町全員実施	2名	15名
目標の達成状況	<p>各町の会長、防災担当者が全員実技並びに研修を終始熱心に行い、中でも地域の実情を検討し、リーダーとして何をすべきか具体例を示し、切実感をもって研修を習得したものと思います。</p>						
事業効果	<p>第一には、防災は連携を重要とすることを強く感じ、より強くすることの意識が見られた。また、このためには情報の共有、さらには連絡方法などを積極的に話し合い、災害に対応する指導者としての自覚ができたものと感じます。しかし、自身の知識を研鑽することも大切と感じたことで、今後も継続することが必要と全員の意見が一致した。</p>						
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望	<p>この研修を終えて、各町の指導者が自町の計画を樹立し、計画に基づき避難等を行い、指定された場所に参集、実施訓練を披露する。また、連携を密にするための体制づくりを確立し、情報交換の場として活用する。さらには、五町会の基盤整備が整った中で、校区単位の防災力を向上させ、安全で安心できる地域を確立する。</p>						

事業実施状況を示す写真



3-6

事業名	全員集合 音楽演奏と大道芸のつどい
団体名	Step By Step
活動地域	1 (西宮)市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町:)
協働団体	Tea For Two 音楽教室
事業の 目的・趣旨	Step By Stepのメンバーも高齢化が進み、また対象者の方々も年々減少する傾向にある。今回は、障がい者、高齢者の方々のいろいろな能力を引き出した共創の音楽、芸能の集いを企画した。これからも障がい者、高齢者の方々がお互いに理解し、住みやすい社会作りを目指していきたいと思う。 また、このような和を広げながら町の活性化に寄与したいと願っている。
事業内容	<p>1. 上田公会堂での発表会 9月19日</p> <p>ハンディキャップを持った方々に音楽を指導し続けて、今回の発表会ではゆうきっこの皆さんに『パプリカ』、『チェリー』、『ありがとう』、『翼をください』などを歌っていただいた。</p> <p>2. 和と洋のコラボ 11月29日</p> <p>Tea For Two 音楽教室で村上夫妻による和(三味線小鼓)と、山本容子、森本優子による洋(ピアノとフルート)のコラボが実現し、大道芸の南京玉すだれと皿回しで八房小春先生にも出演していただき、大好評となった。端唄、小唄、長唄をピアノ、フルートで同時に演奏することは高度な技術で珍しく、今回のお客さんの年齢層は40～93歳で皆さんが昭和の懐かしい曲を楽しんでいる様子だった。</p> <p>3. 西宮市立生瀬幼稚園 音楽を楽しもうの会 12月3日</p> <p>今回はクリスマスツリーやサンタに扮し、園児達も大喜びだった。歌って踊り、ともに行動し、仲間を作っていく私たちの音楽を通しての活動が、幼児教育の基礎になっていると思う。</p> <p>4. ゆうきっこのクリスマスコンサート 12月19日</p> <p>西宮市総合福祉センターの依頼でゆうきっこによる演奏が行われた。今回は、『パプリカ』、『ア ホール ニュー ワールド』、『サンタが街にやってくる』、『あわてんぼうのサンタクロース』の5曲。集中力が持続し、高度なことも徐々にできるようになり、皆さんがとても楽しそうに演奏していた。</p>

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	2	9	19	上田公民館	ゆうきっこ演奏練習	2名	5名
	2	10	3	上田公民館	ゆうきっこ演奏練習	2名	4名
	2	10	17	上田公民館	タンポポコーラスの練習	3名	18名
	2	10	20	Tea For Two	玉すだれと皿回し	2名	8名
	2	11	27	Tea For Two	ズームミーティング	1名	8名
	2	11	29	Tea For Two	和と洋のコラボ (三味線とピアノ)	5名	18名
	2	12	3	生瀬幼稚園	音楽を楽しもうの会	4名	28名
	2	12	19	総合福祉センター	ゆうきっこのクリスマスコンサート	2名	12名
	2	12	25	Tea For Two	ズームミーティング	1名	6名
	3	1	16	上田公民館	ゆうきっこ演奏練習	2名	5名
目標の 達成状況	<p>三日間 (10月21日、11月29日、12月19日) 集客目標：250人 実際の来客数：144人</p> <p>コロナ禍の中での活動になり、密を避けたため、人数が大幅に減りましたが、幼稚園児、障がい者、高齢者の方々、そして地域の活動をサポートして下さる皆さんともいい交流ができた。</p>						
事業効果	<ol style="list-style-type: none"> 和と洋のコラボでは日本古来の文化を再認識してもらえた。 古典芸能を見る会は大好評で、南京すだれと皿回しを習ってみたい人が続出し、月一度の講習会が行われることになった。 音楽を楽しもうの会では幼児にとっていかに音楽の影響が大切かを実感した。歌ったり踊ったりすることで、一緒に行動し仲間を作りながら成長していくことから、音楽は幼児教育の原点であると感じた。 						
補助金交付 終了後の事業展開、今後の展望	<p>障がい者と高齢者を中心に活動していく。障がい者に関しては、今まで通り音楽の指導を続ける。高齢者に関しては、「みんなで歌おうの会」を立ち上げ、4月から月2回行う。生ピアノで歌っていただき、また皆さんの聴きたい曲を演奏したり、大型紙芝居、朗読をしたり、いろいろ楽しいことをしていこうと思っている。</p>						

秋の音 和と洋の コンサート

日時：11月29日(日)

開場 13:00 ~ 開演 13:30~

場所：ティーフォートゥー音楽教室

Tel：0798-66-9616

住所：西宮市戸崎町4-9

会費：2,000円（お茶お菓子付き）



演奏者

三味線：村上恵子

小鼓：村上真幸

● 玉すだれ、皿回し：八房小春

フルート：森本優子

ピアノ：山本容子

端唄・民謡・長唄・
色とりどりの三系の音
秋の昼下がりに
ごゆるりとお楽しみください！



阪神南ふるさとづくり応援事業



9月19日ゆうきっこ



10月21日玉すだれと皿回し



実施経過の写真

11月29日 和と洋のコラボ



12月3日音楽を楽しもうの会



1月16日ゆうきっこ



12月19日ゆうきっこ



1月30日ゆうきっこ

3-7

事業名	第7回 廣田神社浪曲寄席
団体名	西宮浪曲を楽しむ会
活動地域	1 (西宮)市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町:)
協働団体	広田参道を美しくする会
事業の 目的・趣旨	<p>高齢化社会が進行し、高齢者の地域社会に出かける機会が少なくなっている。 また高齢者同士が交流をする機会も少なくなっている。この現状を打開するため、比較的低額で身近な場所で浪曲を鑑賞できる機会を提供し、高齢者に生きがいと元気を与えることを目的に開催した。</p>
事業内容	<p>★浪曲師による浪曲寄席を低廉な価格で一般市民に提供した。</p> <p>★(公社)浪曲親友協会(関西の浪曲師・曲師が所属する団体)より、次の演芸家の派遣を受け、浪曲寄席を開催した。</p> <p style="padding-left: 2em;">*演目と浪曲師 佐倉義民伝…天中軒雲月 恒助丸の由来…天中軒すみれ</p> <p style="padding-left: 2em;">*曲師(三味線)…虹 友美</p> <p style="padding-left: 2em;">*案内役…芦川 淳平</p> <p style="padding-left: 2em;">*拍子木…坂本 実千代</p> <p>★(公社)浪曲親友協会が関与する浪曲師養成教室の生徒による前講</p> <p style="padding-left: 2em;">*演目と出演者 天野屋利兵衛…別所 孝</p> <p>★特殊詐欺が急増していることに鑑みて、西宮警察署による講話と西宮防犯協会によるチラシの配布</p> <p style="padding-left: 2em;">*演題と講師「特殊詐欺にご注意ください」 …西宮警察署生活安全課警部補 藤原 祐希 氏 聴講者数：149人</p>

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	2	9	1	神戸新聞阪神総局ほか	日刊5紙、情報誌への掲載依頼（訪問・郵送）	3名	
	2	9	1	協賛依頼各社	各社訪問し協賛依頼	2名	
	2	9	3	西宮市役所、西宮市文化振興財団ほか	公共施設(36施設)のほか、各種団体(老人連合会ほか)へチラシ布置を依頼	2名	
	2	9	10	団体活動場所	施設などで活動している団体(健康体操教室など)を訪問し開催案内した	3名	
	2	9	17	伊丹昆陽郵便局	過去の来場者を中心にDM発送(126通)し開催案内	2名	
	2	10	23	西宮市広田町7-7 廣田神社(参集殿)	ボランティアスタッフと当日の打合せ、会場準備	20名	
	2	10	24	〃	★(公社)浪曲親友協会より浪曲師ほかの派遣を得て「第7回廣田神社浪曲寄席」を開催 出演者と演目 ★前講：別所孝 ★講話：「特殊詐欺にご注意！」	28名	149名
目標の達成状況	<p>プロの浪曲師による浪曲の口演のみならず、アマチュアの登壇機会を設けたことで、来場者がより身近な寄席に感じられたと思われる。</p> <p>コロナ禍への対策に万全を期すべく、2部入れ替え制・密にならないこと・入れ替え時の消毒作業などあらゆることに挑戦をするイベントを目指した。協働いただいた団体との連携も深まり、地域の輪の広がりに期待ができるものとなった。警察署による“特殊詐欺の講話”も時宜を得たテーマとなった。</p>						
事業効果	<p>会場周辺の住民の方々への参画と、協働団体の「広田参道を美しくする会」の協力の下、コロナ禍によるイレギュラーな作業も滞りなく終了したことは、本会の目的でもある「人々の“きずな”づくりと地域の活性化に寄与する」という本分は少なからず達成できたと思われる。</p>						
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望	<p>資金面では、当初は企業協賛を10社と予定していたが努力した結果、13社の協賛が得られた。今後も増やしていき、健全な運営ができるように努めたい。</p> <p>お手伝いいただいた方々の力も借りながら、日常でのPR活動により参加者の増加を図り、現代社会が失いかけている心の通い合う地域社会づくりを目指すこととする。</p>						

心のふるさと 廣田の杜に 日本人の魂の調べが聴こえる！

廣田神社浪曲寄席

第七回

演目

【前題】天野屋利兵衛 別所 孝(2のみ)

恒助丸の由来 天中軒すみれ



「恒助丸の由来」芝濱之・作
時は戦国の世、美濃の国の刀匠・関孫六兼元のもとには、真面目な仕事ぶりながらもわく有りげな一人の弟子・恒次郎が居た。彼は一体どのような事情を抱えて自分に弟子入りをしたのか、孫六の問いに、恒次郎は苦しい胸の内を打ち明ける。実は、恒次郎はもともと武田信玄の家臣で、河越城の戦いで負傷した主君に無念晴らしを果たさせるため、立派な刀を打ち上げたいという切実な望みがあったのである。

▼天中軒すみれ 平成五年神奈川県茅ヶ崎市生まれ。東京芸術大学音楽部楽理科卒業。大学在学時に生の浪曲を聴いた時、日本にはこんなにも熱い語り物があったのかと感動。浪曲師の道志すことを決意。平成三十年四月天中軒雲月入門。令和の新星として高まる期待に応えて着実に成長。本席も好評にお応えして再度の登場となった。

佐倉義民伝 天中軒雲月



「佐倉義民伝」千葉県佐倉の名主木内宗吾は、大飢饉にあえぐ百姓たちのために奔走していた。宗吾は命を捨てる覚悟で將軍家への直訴を決断する。直訴の前に、ひそかに故郷に戻った宗吾は、旧知の船頭基兵衛の助けで印旛沼を渡り、妻へ離縁状、子供らへの勘当の書き付けを手渡す。義民・宗吾の心中やいかに。佐倉義民伝は、幕政批判が色濃くするため、芝居、浄瑠璃では幕末以降時期に合い人気演目となる。浪花節も同様、明治期から浄瑠璃をもとにした本作を京山小円が得意にし、関東では、雲月が十八番として今に伝える。

▼天中軒雲月(五代目)
岐阜県郡上八幡市出身。昭和四十二年四月代目天中軒雲月入門。翌年中学卒業と同時に内弟子となり、同七月、月子と名乗り香川県坂出市城山温泉センターで「小村寿太郎」を読んで初舞台を踏む。歌手志望だったが、紹介された師匠に、歌手よりも浪曲に向いていると勧められ浪曲師になった。四十九年独立後二年間大阪で修行した。その後名古屋に在住し、東西をまたにかけて活躍。平成二十一年五代目雲月を襲名、東京、大阪、名古屋の三都で華々しく披露。門人の育成にも力を注ぎつつ、当代を代表する女流浪曲家として典葬西走の日々を送っている。

令和2年10月24日(土)

①11時半開場/12時開演 ②14時半開場/15時開演

各回定員50名様につきご来場は予約をお願い致します。

お問合せ・ご予約 河野0798-72-8816 後藤090-6603-6300

会場 廣田神社参集殿2階大広間

西宮市大社町7-7

入場料 1,000円

三味線 虹 友 美
ご案内 苺 川 徳 卓

コロナウイルス感染防止にご協力ください

本公演を安全に開催するため、場内の換気、消毒、三密回避に努めています。お客様に於かれましても、マスク着用のうえ、検温・消毒、ご連絡先のご記入等にご協力下さるようお願いいたします。

また地域の感染状況に鑑みやむを得ず公演を中止または延期する場合がありますことをご了解ください。

■主催 西宮浪曲を楽しむ会

■協力 廣田神社 ■後援 兵庫県阪神南県民センター 西宮市 西宮市教育委員会 西宮市文化振興財団
本公演は、兵庫県阪神南県民センター「阪神南ふるさとづくり応援事業」の助成を受けて開催します。

■協賛：下記の事業者(イロハ順)の皆さんから協賛を頂いています。

阪神米穀(株) 阪神低温(株) 西宮広田郵便局 日本管財(株)
(株)戸崎組 (株)ヤマサ環境エンジニアリング
ケーキハウスツマガリ 栄興電気工業(株) (株)ティーケーシン
(株)サザエ食品 (株)三建 (株)指月電機製作所

以上の応援・協賛いただいたお蔭で、低料金での開催が可能になりました。ご関係の皆様へ厚く御礼申し上げます。



事業名	にしきた商店街 応援&つながるプロジェクト オンライン料理教室
団体名	特定非営利活動法人にしのみや次世代育成支援協会 (NOBARS)
活動地域	1 (西宮)市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町:)
協働団体	にしきた商店街 関西学院大学社会学部関ゼミ 西宮市社会福祉協議会
事業の 目的・趣旨	新型コロナウイルス対策での臨時休校・外出自粛要請により、数か月間、子どもたちは休校、親子とも自宅で過ごすこととなり、ストレスを感じる親子が多くなった。また、これまで地域の中で育んできた交流の場が失われ、コミュニティの希薄化が進んだ。にしきた商店街においては、人の流れが以前の半分以下の状態が続いている。対面ではなくオンライン空間を通して、親子で参加可能な、参加者同士が交流できる場の創出と、今後、また外出自粛となった場合でも、親子でストレスフリーに過ごせる時間を提供することを目的とする。身近な商店街との顔が見える新しいつながりが、新たな人の流れを生み、地域活性化へとつながることを目的とする。
事業内容	<p>1. オンライン料理教室 開催</p> <p>①にしきた商店街「花ゆう」(9/26) 場所：店舗よりオンライン (Web 会議アプリ Zoom 利用) 配信 参加者：主に地域住民 16 名 (概ね小学生以上の親子など) 内容：花ゆう名物「えびしんじょ」の作り方</p> <p>②にしきた商店街「たこまさ」(12/12) 場所：店舗よりオンライン配信 内容：おうちたこやきの作り方 参加者：主に地域住民 15 名 (概ね小学生以上の親子など)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の小学校、およびにしきた商店街・近隣の市民館等でチラシ配布、SNS を通じて参加者を募集 (参加費は無料) Zoom を利用し店舗から約 1 時間の料理教室をオンラインで開催。予め材料やレシピをメールにて配布。参加者は自宅で同時に調理をしながら調理のコツなど講師となる店主から直接アドバイスを受ける。参加者同士も料理の仕上がりを見せ合うなど、地域住民として互いに交流をはかる場となった。 <p>2. ステッカーイベント</p> <p>オンライン料理教室を実施する中で「ステッカーイベント」を関西学院大学社会学部関ゼミと協働で実施。</p> <p>「にしきた商店街と地域をつなぐ」目印として、オンライン教室を開催した店舗や趣旨に賛同を得た店舗にはステッカーを配布することとし、そのステッカーデザインを地域住民の投票により決定した。</p> <p>地域において投票イベントを仕掛けることで「地域に開かれたにしきた商店街」をアピールできた。</p>

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数		
						スタッフ	参加者	
事業経過	20	9	1	花ゆう	お店との打ち合わせ 広報(チラシ配布・SNS) レシピ・スケジュール発送	2 2 2		
		9	26	花ゆう・各家庭	料理教室	3	16	
		11	12	たこまさ	お店との打ち合わせ 広報(チラシ配布・SMS) レシピ・スケジュール発送	2 2 2		
		11	16	西宮市社会福祉協議会ふれぼの	西宮市社会福祉協議会、関西学院大学社会学部関ゼミとの打ち合わせ	2		
		12	12	たこまさ・各家庭	料理教室	2	15	
		12	28	平木市民会館	関西学院大学社会学部関ゼミとの打ち合わせ	8		
		21	1	13	平木市民会館	関西学院大学社会学部関ゼミとの打ち合わせ	8	
			1	21 ～		ステッカーイベント (ステッカー投票)	8	
			2	5				
			2	8		投票結果開票	10	104
			2	14 ～ 26	にしきた商店街	にしきた商店街協力店店主と事業振り返り、インタビュー	各回 2～3	
			2	28		インタビュー内容まとめと事業の振り返り	8	
目標の達成状況	オンライン料理教室各教室 目標 15名→① 16名 ② 15名 ステッカーイベント 応募総数 104 通							
事業効果	<p>参加者からは「地域のお店をより身近に感じられた」「プロのレシピが参考になった」と好評。にしきた商店街の個性的な飲食店の魅力を参加者に伝えられた。「今度はお店に行ってみよう」という声も上がった。今まで商店街の飲食店に足を運んでいなかった層にアピールできたと考える。</p> <p>地域の大学生との協働により、ステッカーイベントに新しい視点が加わった。また、このステッカーイベントにより、オンライン料理教室に参加していない幅広い層にとっても、にしきた商店街に興味を持つ機会となり、さらなるアピールができたと考える。</p>							

<p>補助金交付 終了後の事 業展開、今 後の展望</p>	<p>現在、「にしきた商店街」の魅力を発信するミニブックの作成を検討している。地域や大学に配布することで今回の取り組みや意義・効果を広く広報し、今後も継続していくオンライン料理教室への参加店舗・参加者を増やす手立てとしていく。今回賛同を得られた店舗とは、当法人が現在企画を進めている「地域拠点としての居場所事業」での活動との連携（テイクアウト等）を考えている。</p>
---	--

事業実施状況





お気に入りの「ステッカー」はどれ？

特定非営利活動法人にのしみや次世代育成支援協会は関西学院大学社会学部 関ゼミと協働して、『にしきた商店街』と地域をつなぐ目印となるステッカーを作成することとなりました。裏面の候補から子どもたち、地域のみなさまが「分かりやすい」「これが好き」「この目印があると入りやすい」と思うものを1つ選んで投票してください。

ステッカーの【目的】

- ・誰もが入りやすい目印を作りたい
- ・ほっとできる場のネットワークを作りたい
- ・地域の人たちがお互いに支え合える関係を作りたい

投票期間 1月21日(木)～2月5日(金)

投票方法 投票BOX (平木小学校正面玄関くつ箱近く)、
メール、Facebook にて



※関西学院大学社会学部 関ゼミ生は、西宮市社会福祉協議会と平木地区を中心 に地域活性化活動を行っています。

問い合わせ 特定非営利活動法人にのしみや次世代育成支援協会 (NO BARS) 担当：泉
西宮市青木町 11-17 TEL 070-8363-6171

この事業は、兵庫県阪神南県民センター「阪神南ふるさとづくり応援事業」による補助金を受けて実施しています。

キリトリせん
【ステッカー投票用紙】

ステッカー番号	お名前(任意)
選んだ理由	



①

「丸い形と手で作られたハート型」
温かくて愛のある優しい雰囲気
「みまもりあい」
地域のみんながお互いに見守りあえる関係になってほしい
「虹色」
カラフルな色を使っていろいろな人に来てほしい
みんながハートに包まれているイメージ



②

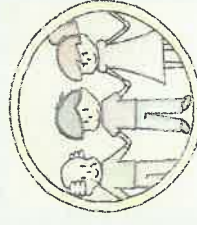
「四葉のクローバー」
ステッカーのある場所に來られた
方々に幸運が訪れますように
「FREE」
誰もが自由に來ることが出来る場所



③

「ハート」
手描きのハートで温もりを表現
「WELCOME」
いつでも、誰でも來れる場所
「3色」
遠くからでも見やすく目に入りやすい

④



「手をつなぐ」
支えあえる関係性を手をつなぐことで表現
「男女」
性別や年齢は関係ない
「色」
淡い色使いで温かみをイメージ

3-9

事業名	HAI's 講座
団体名	芦屋市朝日ヶ丘地区集会所 運営協議会
活動地域	① (芦屋) 市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町:)
協働団体	朝日ヶ丘町自治会 東山町自治会 岩園町自治会
事業の目的	地域活動の拠点である朝日ヶ丘地区集会所を地域の皆さまに知っていただき、より多くの方自らが、ご利用いただけるような集会所を目指し、第一歩として事業を開催することを旨とする
事業内容	<p>1 GENKI★体操(全5回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で外出する機会が減る中、自宅で手軽にできる体操を地域の方との交流を持ちながら講師とともに健康維持の一役を担う ・各日程で講師を変えることで、さまざまな体操をご体験いただき、よりご自身に合った体操で続けやすいように配慮 ・途中参加や欠席されても毎回が一からのスタートなので、すぐに馴染んでいただけるよう配慮 <p>2 囲碁ひろば(全2回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・囲碁を通じ、性別や世代などを越えた交流を目指す <p>3 Xマスリース ワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手作りの楽しさと出来上がりの喜びを地域交流とともに提供する <p>4 注連飾り ワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手作りの楽しさと出来上がりの喜びを地域交流とともに提供する <p>5 生活資金見直し講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段、聞く機会のない資金繰りなどの講座を開催し、無駄のない生活設計を立てるサポート

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	2	9	11	朝日ヶ丘地区集会所	GENKI★体操	1	12
			15	〃	囲碁ひろば	3	5
	10	10	9	〃	GENKI★体操	1	7
			20	〃	囲碁ひろば	2	5
	11	11	13	〃	GENKI★体操	1	6
			29	〃	Xmas リース ワークショップ	2	11
	12	12	11	〃	GENKI★体操	1	8
			19	〃	注連飾り ワークショップ	2	11
	3	1	8	〃	GENKI★体操	1	7
			20	〃	生活資金見直し講座	1	5
目標の達成状況	<p>今まで集会所を訪れたことがない方や、コロナ禍で自粛を余儀なくされている方、行き場のない方が集う良き機会となりました。</p> <p>集会所を知っていただく・ご利用いただき地域の交流を深めていただくという目標は達成できました</p>						
事業効果	<p>GENKI★体操は今回ご参加の男性が中心となり、月に一度ではありますが、男性だけの体操クラブを立ち上げられ、今回ご参加いただけなかった地域の男性も参加され、活動されています</p> <p>囲碁ひろばは、月に2回継続して男女数名がご参加くださっています</p>						
補助金交付終了後の事業展開、今後の展望	<p>実際に継続している事業の参加者を増やし、より多くの方に集会所をご利用いただけるよう努めます。</p>						

事業実施状況

兵庫県阪神南県民センター 反神南ふるさとづくり応援事業、の補助を受けています

2020 朝日ヶ丘集会所 季節のワークショップ ご案内

『クリスマスリース』

開催日時 / 11月29日 (日)

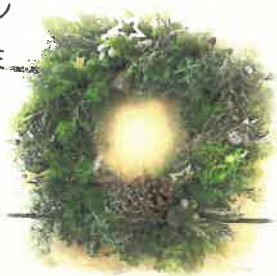
10:00~12:00 (12名)

場 所 / 朝日ヶ丘集会所 洋室 A

参加費 / ￥ 1,500

持ち物 / エプロン

花バサミ



(写真はイメージです)

『お正月飾り』

開催日時 / 12月19日 (土)

10:00~12:00 (12名)

場 所 / 朝日ヶ丘集会所 洋室 A

参加費 / ￥ 1,500

持ち物 / エプロン

花バサミ

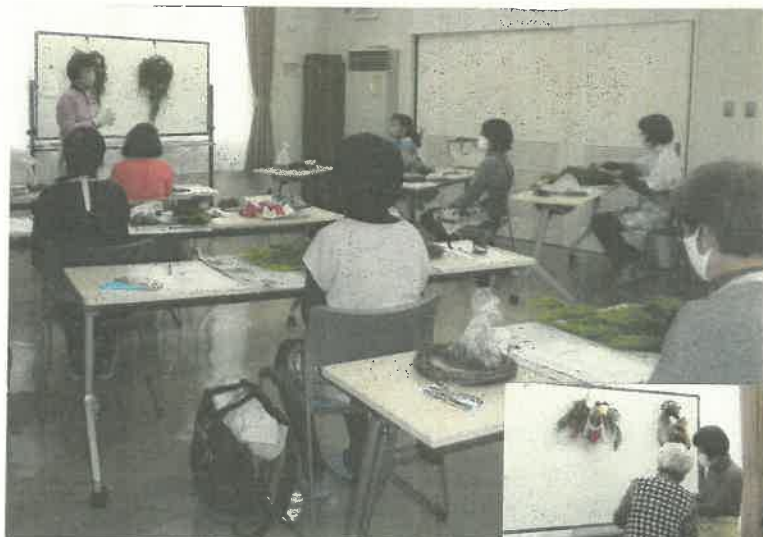


(写真はイメージです)

お申し込み受付中 各々、定員になり次第 締め切らせて頂きます

朝日ヶ丘集会所 0797 (23) 4896 *受付時間 / 9:00~12:45 (月曜休館)

主催 芦屋市朝日ヶ丘集会所 「運営協議会」





3-10

事業名	高校生の視点から発見・発信する芦屋の魅力
団体名	あしや部
活動地域	1 (芦屋)市 2 地域団体が所在する市域以上の広域 (対象市町：)
協働団体	
事業の 目的・趣旨	<p>芦屋市では、中学校や高校の時から市外の学校に通う生徒が多数いる。そんな高校生たちにとって、芦屋市がふるさととなっているのかが疑問である。芦屋市は20～30代以降に転出が増加している。そのような状況にあって、若者が魅力を感じるまちづくりが十分行われていないのではないかとすることが課題である。上記のような芦屋で育った若者が、市や地域の団体・企業と協働することで、芦屋市の価値を発見し、発信していく。具体的には、市内在住の高校生が、市内の事業所・飲食店や若者が楽しめるスポットの調査を行い、フリーペーパーを制作して市内の様々な場所に置いていただくとともに、SNSでも発信していく。</p>
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年9月6日(日) 「フリーペーパーに向けてプロに学ぶ」(於：リードあしや) <ul style="list-style-type: none"> ・講師：柴田愛氏(株式会社芦屋人代表)、荒川明日香氏(写真家) ・内容：芦屋の地域情報サイト・フリーペーパー「芦屋人～あしやびと～」の編集に携わっている柴田愛さんに、プロとしてフリーペーパーを作る流れや役割分担、収益化について教えていただいた。 市内在住の写真家・荒川明日香さんには、iPhoneを活用した撮影のコツを教えていただき、実際に撮影した写真にアドバイスをいただいた。 その後、今後の取材内容やスケジュール、役割分担について話し合った。 ・2020年10月25日ミーティング(於：リードあしや) <ul style="list-style-type: none"> ・内容：具体的な取材先・取材内容を話し合っ、決定した。 ・2020年11月14日(土)「芦屋ロックガーデンの魅力を経験しに行こう！」 (於：芦屋ロックガーデン) <ul style="list-style-type: none"> ・内容：ワンダーフォーゲル部に所属するメンバーの企画で、芦屋ロックガーデンに行った。山登りに慣れていない人でも手軽に行ける範囲ということで、お昼から風吹岩を目指していった。風吹岩では、ハイカーにインタビューも行った。当日のハイキングの様子を動画にしてYouTubeにアップした。

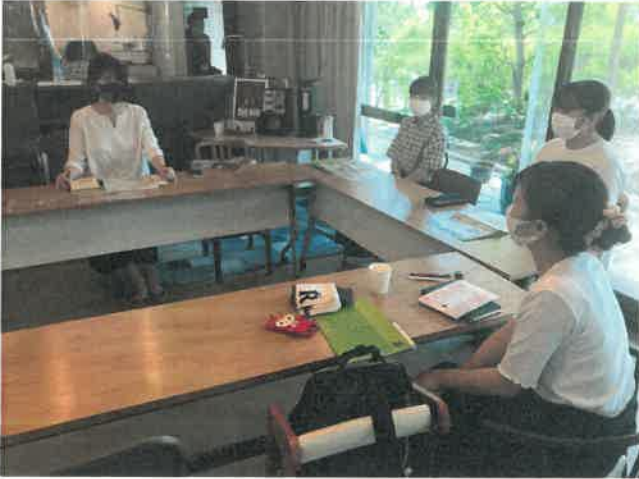
	<ul style="list-style-type: none"> ・2020年12月20日(日)「芦屋に貧困問題はあるの？ ～社会福祉士の方に現場の話を聞く～」(於：リードあしや) ・取材相手：三谷百香氏(社会福祉士・芦屋市社会福祉協議会 相談支援係係長) ・内容：芦屋市の貧困の現状と展望、社会福祉士の仕事についてインタビューを行った。取材内容は神戸新聞社のことまど(新聞づくりを体験できるクラウド型アプリ)でまとめた。 ・2021年1月19日(水)「芦屋の防災教育を知る」(於：市立精道小学校) ・取材相手：市立精道小学校 高見先生 ・内容：精道小学校での防災教育・学習の取り組みについて伺った。 ・2021年2月13日(土)「フリーペーパー表紙の写真撮影」(於：リードあしや) ・内容：以前講師で来ていただいた荒川明日香氏に依頼し、フリーペーパー表紙の写真撮影をリードあしやの屋上で行った。その後、フリーペーパーの原稿を全員でチェックした。 ・取材した内容を各自でまとめ、2月18日に紙面が完成し、フリーペーパー2,000部を制作。750部を市内の関係機関に、750部を市内3中学校の3年生全員に、500部を市内各所においていただいた。その他、全国の活動団体に送った。
--	--

	年	月	日	場所	実施内容	参加人数	
						スタッフ	参加者
事業経過	20	9	6	リードあしや	フリーペーパー制作に向けてプロに学ぶ	9名	6名
		10	25	リードあしや	ミーティング	9名	
		11	14	芦屋ロックガーデン	【取材】阪急芦屋川～風吹岩までのハイキング	3名	1名
		12	20	リードあしや	【取材】社会福祉士の方に、芦屋の福祉課題を聞く	3名	
	21	1	19	精道小学校	【取材】芦屋の防災教育を聞く	2名	
		1	31	zoom	オンラインミーティング	9名	
		2	13	リードあしや	表紙写真の撮影	14名	
	2	27	市内	フリーペーパーの配付・発送	3名		

<p>目標の達成状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・プロから学ぶ講座 目標 1回 → 1回・2人 ・取材先 目標 5件 → 3件 ・ページ数 目標 16ページ → 8ページ ・印刷数 目標 2,000部 → 2,000部 ・配布先 目標 20件 → 20件以上
<p>事業効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・フリーペーパーの制作を通じて、芦屋の魅力进行调查・発信するあしや部の活動に興味を示す高校生が増えた。結果として、メンバーが5名増えた。 ・Facebook でフリーペーパーを置いてもらえるお店を募ったところ、複数の返答をいただいた。また、たくさんシェアをしていただいたことで、4,000人近い人にリーチする記事となった。多くの人に興味を持ってもらえるフリーペーパーを作ることができた。 ・主体的に高校生が活動していることを知ってもらう機会となった。そのため、一緒に活動してもらえないかという依頼もあった。
<p>補助金交付終了後の事業展開、今後の展望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・当初16ページのフリーペーパーを予定していたが、紙面が半分となった。次年度は16ページのフリーペーパーを年2回発行したいと思う。 ・対外的に活動のPRがしやすくなったので、さらにメンバーを増やしながら、芦屋市在住の高校生以外も参加できるイベントなどを企画していきたい。



事業実施状況を示す写真、チラシ等



TAKE FREE
2021
WINTER

芦屋市在住の高校生が、芦屋の魅力発信するフリーペーパー

あしや部

ASHIYABU

芦屋市
在住

高校生が見つけた芦屋の魅力!



芦屋ロックガーデンの魅力
芦屋の防災教育in楠畑小学校
高校生がおススメお土産特集4選
芦屋の福祉の現状を、専門家に伺う
フリーペーパー制作への道

あしや部
芦屋市在住高校生
市民活動プロジェクト
2021 2月号

編集：松岡晴香
編集：松岡晴香
発行：あしや部

あしや部 ~芦屋市在住高校生市民活動プロジェクト~

発足への思い ~ 共同代表・田邊・池田より ~

芦屋市は、公立・私立問わず市内の高校に通う高校生がとても多い。高校生にとってみれば、家に帰ってくるだけの場所になっていないだろうか。また、進学・就職で芦屋を離れる学生も少なくない。たまたま芦屋市以外に居心地がよいことになっても、芦屋をホームタウンとして感じてほしい。そしてその移り住んだ街でも活躍してほしい。地域連携に力を入れる芦屋在住の2人の高校教師（公立・私立）が、芦屋在住のいろいろな高校に通う高校生が高い、活躍する場を作りた。そんな思いで2019年7月に発足しました。

活動指針

- ★高校の垣根を越えて交流しよう!
- ★「やりたい」を地域の大人と形にしていこう!
- ★自由に安心してできる程やかでゆるい集まり♪

活動内容

高校生同士の交流を大事にしながら、メンバーの興味をもとに芦屋をフィールドとして活動しています。市内で行われているイベントへの参加、飲食店や小売店への訪問・インタビュー、委託所職員による市歌の勉強会、市長との懇談、会員の高校生とのオンラインでの交流会、フリーペーパーの制作、定例ミーティングなど様々な形で芦屋を知り、芦屋の大人と交流し、行動に移していく機会をたくさん設けています。夏頃として、リードあしや（発行第5-8）をお送りしています。

メンバー資格

- ・芦屋市在住の高校生（公立・私立・全日・定時・通信制問わず）
- ・学校外で何か活動をしたとと考えている人
- ・学校外のつながりや居場所を持ちたい人
- ・自分に自信をつけたい人
- ・活動実績を使って大学進学を考えている人

メンバーの【公立】 神戸・西宮・三田・三原
【私立】 聖光学院、聖光学園、にじやま
【定時】 西宮南高等学校、聖光学院（2021年2月現在）

公式ホームページ・公式SNSアカウント

最新の情報を発信します。どこからでもお問い合わせいただけます。

公式ホームページ

LINE 公式アカウント

@ashiya_bu

@ashiya_bu

@ashiya_bu

<https://ashiyaabu.com/>

編集/発行：あしや部~芦屋市在住高校生市民活動プロジェクト~ (令和3年2月発行)



兵庫県阪神南県民センター 県民交流室 県民・産業振興課

〒660-8588 尼崎市東難波町 5-21-8

TEL: 06-6481-4397 / FAX: 06-6482-0579